

支那便り

社団法人 ガール・スカウト日本連盟

山 梨 県 支 部



シニア・レンジャーキャンプ 1980. 7月26~30日

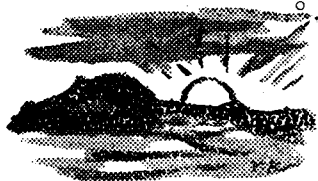
ごあいさつ

支部長 依田喜栄

去る四月二十七日の、総会におきまして支部長の、御指名をいただきましてから、もはや半になろうとして居ります。微力な私ではございますが、皆様の御協力に支えられ、何とか重責を果してまいりました。当番県としましての八月三十、三十一日の、南関東地区の青年会議、又十月十九日の六十周年の記念の支部ラリー・この二つの大きな行事を無事に済ませることが出来ました。感謝にたえません。

本年はガールスカウト運動が日本に始まって、六十年を迎えました。この年月の歴史と、活動を受け継ぎ、次代を担う少女達の・心身のすこやかな成長に役立つよう心に期して居ります。なを五十年の二月に支部が結成されました。永い間の先輩諸姉の、御苦勞の賜物と存じます。その後支部も順調に活動いたして居りますが、県内の南部にはなかなか団が結成されません。全県下にこの運動が拡がりますことを切に願って居ります。

皆様方のより大きな御協力と、御指導、御鞭撻を、心からお願ひ申し上げます。



ひとこと

組織委員長 今井 温子

副支部長 鷹野 久子

暦は1月から始まって12月に終わるのに、人の社会のきまりは春4月から始まって翌年の春3月に終わる。いつの間にかこうして1年1年すぎて行く。山梨県支部も誕生して満5年を迎えました。この4月に新旧役員の入替わりで私も副支部長の一人として新しいプログラムにとりくむことになりました。4月になれば新しいブラウニーが仲間の輪に加わりジュニア、シニア、レンジャーとそれぞれにフライアップです。新しい顔が仲間がこの輪の中に加わり世界のどこかでも同じことが行われていることでしょう。スカウティングを通して世界の平和にすこしでも役立つことができるようにみんなでこの輪を拡げてゆきたいと願っております。

書記 箭本 翠

私が今している役目は書記である。書記って何をすると云いながら書記になってしまった。会議の度に出かけて行って記録をとるだけけれど、老眼で眼鏡をとったり、外したり、字は忘れてしまふし、まとめようかと思うと、反対の主旨になっていたり、で散々である。昔からノートは殆んどとらない主義で過したむくいが今来た様だ。それでもポツポツ半年、どうにか過して来た。会議を幾つか持ってみて、正しい記録というもの大切さをつくづく感じさせられる。会議の為の会議にならぬ様、記録は絶対必要である。決定事項があやふやで、夫々の主観がまじっているのは、会議をした目的が達せられないからだ。地味ながら大切な仕事書記、やっているうちに独自の力がついて来る仕事、若い人達には是非やって戴きたい仕事である。

会計 飯田 誠子

会計といえば国の内閣では大蔵大臣に相当するものですが、そんな重大な役を、我が家の家計簿すら満足につけられない人間が、一昨年4月リーダーになったばかりの時、やむなくお引き受けして3年目になりました。5月に集める登録費、支部費を数える手も今年辺り漸く震えなくなって来たところです。我が山梨支部の財政も御多聞にもれずきついもの、多分、委員の皆様方の足代、電話代などかなりの自己負担におんぶした上での黒字と思っております。支部として購入したい備品もございませぬ、なるべく皆様の自己負担もなくなりたいと思っておりますが……。

限りある支部の大事な財産を、どのようにうまく使えば支部発展の一助となり得るか、これが会計としての重要な課題でしょうか。

組織委員会として、今までの指導者委員会と別に、一つの独立性を持った理由は、支部内のガールスカウトに関連するすべての基礎の確立を第一に挙げたく思います。団体は組織が充分に整っていれば、何事につけ運営が穏やかに進み、逸脱した事は、必然的に起らず、関係者間の理解も深まり、又強い社会の協力も得られると思えます。委員会事業は支部規定、登録、転入転出の証明、表彰、団委員研修、宗教に関する諸問題、開拓委員制度に関する調査等、各団各位の御質問、御相談に知識のある限りお答えいたします。御利用下さる事を望みます。

S 5 5 年 1 0 月 1 日 記

プログラム委員会の紹介

小野 加代

プログラム委員会の仕事には、(1)バッチの認定、(2)プログラムの展開に役立つ行事の企画、立案実施、(3)教材資料の作製配布、(4)団のプログラムについての助言、(5)県内の奉仕活動、(6)エイド挑戦者のための各施設の利用、提携、紹介等があります。本年度、私達のプログラム委員会では、(1)については、バッチの申請の仕方をわかりやすく、又統一するように指導していきたいと思っています。(2)については、5月の子供の日の行事への参加、6月の県青年会議、8月の南関東地区青年会議、10月の支部ラリー、舞鶴のつどいへの参加等を実施してきました。(3)、(4)については各団の年間プログラムを集めプログラムのための情報交換を行いたいと思っています。(5)については9月にアクションとして地域の清掃を行い、11月にはオムツを集め、それぞれの地域の施設に役立てていただく予定になっています。(6)については、県内のレンジャーは数が少く、レンジャーとしての活動がしにくいので、各団との横のつながりをもつ集会を考えてみたいと思っています。集会のプログラムについて、又、バッチの申請等、わからないことがありましたら、プログラム委員会にお申し出下さい。又、新しい歌、ゲームクラフト等の情報をおよせ下さい。なお役員は2団新海、4団箭本、及川、6団星野、9団芦沢、10団嘉村、13団河野のメンバーです。よろしくお願い致します。

55年度 支部役員氏名

支 部 長	依 田 喜 栄	広 報	佐 藤 秀 子
副 支 部 長	鷹 野 久 子	財 務	小 田 切 俊 子
"	岩 下 隆 子	庶 務	角 井 節 子
書 記	箭 本 翠	監 査	外 川 美 和 子
"	津 島 み さ 子	"	古 屋 清 子
会 計	飯 田 誠 子		
組 織	今 井 温 子		
指 導 者	山 田 幸 子		
プ ロ グ ラ ム	小 野 加 代		
キ ャ ン プ	深 沢 武 子		
国 際	小 野 洋 江		

スカウトのページ

シニア・レンジャーキャンプに参加して

第11団 梅沢 緑

私にとって、2度目の支部キャンプはシニアの私と坂本さんのたった2人の参加でした。2人とも組が、ばらばらになり、とても不安で「4日間が早く過ぎてくれないかなあ。」などと思ったりしました。しかし、組の人と仲よくなってみると、4日間だけではなくずっとキャンプをやっていたくらい楽しくてたまりません。それから、始めて支部キャンプに参加したときとちがって、以外とらくだったことです。たとえば、かまどが水くみ場にあるので、らくだったし、テントがはってあるところが平だったので寝やすかったからです。それに、始めてのときよりも、他の団の人と話が出来、仲よくなったことが私にとってとてもうれしかったことです。

GS 60周年全国キャンプに参加して

4団 若月 恭子

私が、このキャンプに参加した動機は、「全国の多くの人と交流したい」という単純な考えでした。どうしてこんな単純な考えでありながらも、全国キャンプに行きたがったのだろうと自分でも不思議なくらいです。きっと去年の楽しかったジュニア・シニア会議の余韻が残っていたのだと思います。

キャンプの日が近づくにつれ心臓の鼓動が乱れそのうえに背後から不安という悪魔に襲われているようでした。時間の関係上、1日早く出発しました。しかし私にとっては、家を出た時からキャンプが始まっていたのです。5日分の衣料などを詰めたりリュックが、いつものキャンプの時より重く感じました。きっとそのリュックには、不安や山梨のG.Sとしての責任がずっしりと詰っていたのだと思います。

いよいよ戸隠でのキャンプ第1日目が始まった時、私は全く知らない北海道と沖縄を含む8人と出合いました。みんなの顔には微笑が浮かんでいました。そんな人達に対して、私は笑いを知らないかのように、コチコチになってただ時の流れに自らを任せていました。でも少したつと、そんな時があったとは考えられない程、楽しい時間が待っていたのです。初めは、話しかけもしなかった人と話をしたり、心をうちとけ合い仲良くなれたことは、私にとって最高の喜びでした。歌を歌いながらクラフトをしたりしているうちに、いつの間にか私の心から不安という悪魔は、いなくなっていました。

青い空と、どこまでも続く緑、そして立ち誇る白樺に身守られ、私は長いと思っていた5日間をあっという間に過ぎてしまいました。

5日間の中では、リーダーに注意された事寒い中を厚着をして見た野外映画、鈍行電車での5時間、皆で考え出したクラフト作りといろいろありました。その時はイヤだと思ったり苦勞したけれど、今考えるとそれが、私にとってよき思い出となり、G.Sとしてまだ未熟な私にとって、大きなプラスとなりました。

私は、このキャンプに参加して多くの事を学びました。そして最高の喜びを味わいました。またいつか、このキャ

ンプと同じ喜びを得たいと思います。

私は、今年またG.Sとしての視野が広がったように感じました。これからも、もっともっと視野を広げ続けていこうと私は、自分の心に誓いました。

仲よしキャンプに参加して

1団 波江 理香

私が、仲よしキャンプの事を初めて知ったのは、文通している東京のリーダーによってでした。そのリーダーの手紙には、仲よしキャンプの細かい説明と、キャンプに参加してみないかという、誘いの言葉が書かれてありました。この手紙が、仲よしキャンプに参加するきっかけになったということは、ここに書くまでもありませんが、もう一つ、大きな理由があるのです。それは、仲よしキャンプが、私達スカウトだけのキャンプではない。ということ。3日間、耳の不自由な人と一緒に生活するキャンプ。ろうあ者の人達とキャンプをするということは、私にとってたいへん勉強になると思ったのです。そしてろうあ者の人達と友達になれたらいいなあと思い、リーダーに話し、そして、参加できることになったのです。

8月11日、キャンプ第1日目。私達は、ろうあ者の人達より1日早く、キャンプ場に到着しました。それは、ろうあ者の人達とのキャンプをより楽しいものにするため、いろいろと勉強するからでした。手話のし方、口の動かし方など。ゆっくり話せば、手話でなくても通じると、教えていただきました。手話は、そんなに難しいものではないのですが、単語を数多く覚えようとすると、なんだか、こんがらがってくるのです。明日、大丈夫かなあ。そんな心配をしているうちに、とうとうその日になりました。

キャンプ2日目。キャンプ場入口の所へ、みんなで並んで待っていました。まだか、まだかと心はどきどき。少したって、30人くらいのかたまりが、ゆっくり歩いてくるのが見えました。あつ来た。みんなの騒ぎようといったら。もちろんその中に私もいましたけど。各テントに、2名ずつ、ろうあのお友達が来ました。最初は何を話してよいのかわからず、ただみんなでのおど。でも前の日に覚えた手話をこわごわやってみました。“私はあなたの友達です”“ありがとう”通じた時の喜びは今も忘れられません。だんだん、お互いに話すようになりました。普段、なんの気なしに話をしてはいますが、これほど口で話ができないということが、たいへんだとは思いませんでした。それに、聞こえないという不自由さ。しかし、私達が仲よくなるのに、そんなことは、全然関係ありませんでした。この日の夜、小キャンプファイヤーをしました。ろうあのお友達にはやっぱりつまらなかったみたいでした。私達も一生懸命わかるように、ノートなどに書いて教えてあげたのですが。こればかりは、しょうがないことです。この日、星がとてもきれいで、流れ星がたくさん見えました。ろうあのお友達と一緒にその夜空を見上げたことが、とても心に残っています。

キャンプ3日目。朝から、なんとなく忙しい日でした。みんなで、戸隠オリンピックというワイドゲームをしました。竹取り競争や仮装大会、宝さがしなどなど、とても楽しかったです。キャンプ最後の夜とあって、盛大に

キャンプファイヤ・をする予定だったのですが、雨が降ってしまいだめでした。それでも、だんだん手話がうまくなってきた私達は、心ゆくまで話をしました。キャンプって本当に良いものですね。つくづくそう思いました。

そして、とうとう別れの日。みんなで泣きました。「又、会おうね」「絶対、会おうネ」この言葉が飛びかかっていきました。やっぱり、このキャンプに参加してよかったと、心から思いました。私にとって、このキャンプでの思い出は、いつまでも心の中に残ることでしょう。

支部ラリーへ行ったこと

3年 渡 辺 恵 理

10月19日に支部ラリーへ行きました。

8時20分に集合しました。わたしは、たかこちゃんで行ったけど、まにあわないようなのではしていききました。そうしたら、ギリギリでまにあいました。わたしは、「あーよかった。」と、心の中で言いました。バスに、乗って、ふじよしだ青少年センターに行きました。すると、リーダーが、下の広いところへつれていってくれました。式がはじまると、はじめのことで、ガールスカウトのれきしをはなしてくれたり、ほめてくれたりして、うれしかったです。とくに、ガールスカウトのれきしがわかり、きてよかったなあと思いました。

ワイドゲームの時間がおくれているから、こうどうをはやくしようと、思ったけど、ちょっと、気になることがありました。一つは、ひんけつでジュニアの人が、二人もおれたことと、5団がなかったことです。5団がないなんて、おもしろいな、ときらくにおもっていたけど、今ではふしぎです。ワイドゲームをして、2ばんになりました。しょう品は、ブラウニーのローブドールでした。そのあと、郷土しりょう館を見学しました。わたしは、きてよかったなあと思いました。そのあと、6団といっしょにバスにのっていたけど、6団の人は、ピジターセンターでおりました。そして、今、一ばんおもっていることは、支部ラリーで友だちになった女の子です。わたしは、「また、あえればいいなあ。」と、思っています。そして、その友だちとは、もうあえないかもしれないけど、もしあえたら、わたしが、つくったおまもりをあげたいな、と今、思っています。

私たちの団

ガールスカウト

山梨第一団

集会場=ブラウニー	山梨英和幼稚園 甲府市丸の内2丁目
集会場=ジュニア以上	今井友之助様方 甲府市北口3丁目3-24
ブラウニー	24
ジュニア	23
シニア	8
レンジャー	5
リーダー	8

山梨第一団は発団が昭和34年7月県内では一番長い歴史をもった団ということになります。ブラウニーは甲府の中央にある英和幼稚園を毎週土曜日におかりして集会をしております。可愛らしいクラフト作り、ゲーム・ジュニア・シニア・レンジャーは今井リーダー御夫妻のご好意により広い集会場をおかりし自由につかわせて頂いております。沢山のキャンプ用具も倉庫に納まりキャンプ前の点検やテント張り、野外料理も広いお庭をおかりし楽しいゲームや規律訓練もやっております。団活動を進めるうえでどんなに助かっていることでしょうか近くには甲府駅、舞鶴公園、愛宕山、武田神社と、自然に恵まれているのでこれらを活かすプログラムをくみ、追跡ハイク・ボール遊び、スケッチや、自然観察にも出向きます。ジュニアが一番人数も多く出席も非常によくやる気充分、毛糸のモチーフ編をまとめ老人のために膝掛を作ったり、クリスマス会等の司会又20年来組費の中からお花を買って甲府駅に飾っています。シニアは受験のため中3のスカウトの出席があまりよくありませんが、中1のスカウトが成長し暮の27日には春光園にお掃除に行ってくれました。レンジャーの高3の2人は今年念願の大学に入学が決まり希望に又胸を大きくふくらませその土地でのスカウト運動に協力し、一步一步リーダーの道に近づきつつあります。高1、高2のレンジャーはそれぞれのエイドを取るのに忙しい勉強のあい間をみ頑張っております。

頑張れレンジャー!! 御主人様の御栄転で2人のリーダーが転出され今一番の悩みはリーダーが不足している事です。

父母会の皆様には是非御協力をお願い致します。

一編集後記一

本年度から広報を担当しました。手さぐりの状態で行りました広報55年度第1号、もっと早くお届けしたかったのですがとうとう55年度終了期になってしまいました。*

来年度は年数回発行したいと思っています。

気がついたこと、ニュース・御意見等お寄せ下さい。いつも皆様の手近かある充実した支部便りにしたいと思っています。

みなさんの支部便りとしてかわいがってくださいね。

広報委員会

文部後り

社団法人カールスワ
日本連盟
山梨県支部

定期総会

開かれる

五十六年五月十日甲府市

南公民館において第六回、

定期支却総会が開催されま

した。五十五年度事業報告

並びに決算報告、五十六年

度事業計画、予算案と審議

され、会員の方々の承認を

いただきました。

尚、指名委員の選出が行な

われ、三団の井出孝子さん

と、四団の竹上和子さんの

二人が今年度新たに選出さ

れ、七名の指名委員さんが

活躍して下さいます。

キャンプ委員会主催

リーダー訓練キャンプ

六月二十、二十一日(一)しながら楽しくキャンプ技

術を学びました。

若三日(富士吉田青少年セ

ンター)キャンプ場において

リーダー訓練キャンプが、

県下各団より十九名のリー

ダーが参加し、夏の団キャ

ンプをより一層充実するた

めに、キャンプ技術を一柱

懸命学びました。

テントの立て方、キャンプ

クラブト、規律訓練、ワイ

ドゲームにハッスルし、忘

れかけていたものを思い出



主な年間事業計画

組織委員会

支部役員研修

団委員長研修

新団指導

団訪問

2回

2回

指導者養成委員会

リーダー養成

野宮研修会

リーダー研修会

リリーダ研修会

11月3日

9月

8月30日

10月

国際委員会

ユニセフ募金

シンキングデー

広報委員会

支部だより

10月

11月

2月

4月

参加者の声

地場洋

つゆの中、天候にも

初めて訓練キャンプ

させて頂き、設営を

キャンプクラブト等

らず、先輩リーダ

識を必死に吸収し

とても勉強になりま

参加して多くのこと

他団の様子を聞き、

キャンプに役立つ効

った訓練キャンプで

各団キャンプ情報

1	団	7/23~26	5	St	戸川スズラン
2	・	7/28~31	4	St	石橋 友樹
3	・	8/10~12	3	St	西崎 健
4	・	8/17~19	3	St	本橋 湖廣
6	・	8/27~30	4	St	若川 グリーン
9	・	9/27~29	3	St	八幡 誠
10	・	9/28~29	2	St	大井 啓
11	・	8/10	1	St	24 南 谷

支那後

昭和56年度
No.2
S 56.9.30

団員キャンプ報告

キヤ一団
山梨キ一団芦川キャンプを終えて

山梨キ一団は、七月二十三日から二十六日の三泊四日、東八代郡芦川村スズランキャンプ場で団委員長始めり、十名、Sr三名、Jr十七名、B三名、他二名の計五十六名で始めての団合団キャンプを行いました。

Sr、Jrは全員野外ですが、Bは民宿を貸り合営をし、食事は母親が交替でお手伝いをしました。Srは一日目に大雨に合いました。一日遅れて行、Jrは晴天に恵まれ、テント張りも日頃の練習の成果を發揮し、皆上手に張ることが出来木としてました。

一番の難題はやはり火起しで一定の炎を保ておくという事はなかなか難かしくその為に食事の仕度に手回し飯も全員が上手に炊

けたというまでにはいきませんでした。副食は上手に出れました。

二日目の早朝ハイキングは朝もやのキャンプ場を六時に出発し、林道を約一時間四十分程歩き、スズラン畑でスカウト、オンを行い朝食のおむすびを食べ、腹ごしらえの出発とてころで破風山に登りました。登っている間はもう引き返そう、というスカウトもいました。富士の姿を眺め、眼下に広がる河口湖町の景色ほど見下しながら頂上に着きました。河口湖大橋を左下に、富士山を真正面に見え

るはずでしたが、富士の頂上は雲にかくれており、残念ながら大きな富士山を見ることが出来ませんでした。しかし裾野の雄大さ、湖をすべる遊覧船を見ながら、しばし休憩をとり、登りの疲れもふきとんだところ

で、ハイライイト、キャンプファイアはカブスカウトの隊長が一でしかり張れる工夫して下さり、木組に針配顔の中、リーダーを張り、それを引くと奥バイスを受け、張ることが出来、火するという仕掛けをし、卓火した瞬間スカウト達は感嘆の声をあげ、大成功を感さめました。それに引き品がたくさんで、続いてスカウトのスタンツも各々アイデアを出し合い、とても楽しい一夜でした。



このキャンプを終え、参加者全員、ホムミグにかかると、病気になる予が一人もあらず、スカウト同志和氣に満ちた雰囲気、全員が元気に又の日を約して収穫多し、訓練を終えて、家路に着すばらしく思ひました。



★オ十団
大月林業センターとキャンプ場にて七月二十六日から二十九日まで団キャンプを実施しました。晴天に恵ぐまれ登団

ハイライイト、キャンプファイアに来たシニアが、エ夫して下さり、木組に針配顔の中、リーダーを張り、それを引くと奥バイスを受け、張ることが出来、火するという仕掛けをし、卓火した瞬間スカウト達は感嘆の声をあげ、大成功を感さめました。それに引き品がたくさんで、続いてスカウトのスタンツも各々アイデアを出し合い、とても楽しい一夜でした。

★オ十三団



『夏期キャンプ十三団報告』

今井モヤンアリーダリのもとに
リーダリ五人、父母の御協力を
も加え、黒平小学校(廃校跡)で
七月二十三日〜二十六日、三
二ア、シニア三四名、オース
トラリア少女一名、アメリカ

三世少女一名も参加して、天
候にも恵まれ、三泊四日のキ
ャンプを無事終了しました。

同じ甲府市とはいいなから大
変な地で、交通にいささか
懸念しながらも、下見時にリ
ーダリの心とかきり一致し、

大きな喜びの中、準備にかか
り、ポールも苦勞しながら本
式に作成、夜は三人のお父様
に一泊ずつ泊っていただき、ま

たお母様方のご協力と、心丈
夫に思いました。

プロگرامもなるべくゆとり
を持ちながらもきまり正し
計画と、更に土地との親しみ
を増すのに、民話、生活様式

を知りたく、地元の方の持
清流での水遊び、きもだめし
等々、きもだめしの時の少女

スカウトオウンでは、林の中
で鳥の声を聞きながら、今井
リーダリのがールスカウト入
団の動機となった「ある少女の
お話」には深い感動を覚え、
スカウト達もきこ心に残った事
でしよう。

このキャンプを通して、パト
ロールの重要性、組長の在り方
等々、リーダリとして更に力
強く前進し、スカウト共々明
年のキャンプにそなえる心意気
を新たに報告いたします。

二日目の夜、キャンプファイヤ
の準備を済ませ、お話を聞
きながら、お話を聞かされた
とき、とてもおもしろいと思
いました。

五日目の夜、キャンプファイヤ
の準備を済ませ、お話を聞
きながら、お話を聞かされた
とき、とてもおもしろいと思
いました。

六日目の夜、キャンプファイヤ
の準備を済ませ、お話を聞
きながら、お話を聞かされた
とき、とてもおもしろいと思
いました。

七日目の夜、キャンプファイヤ
の準備を済ませ、お話を聞
きながら、お話を聞かされた
とき、とてもおもしろいと思
いました。

八日目の夜、キャンプファイヤ
の準備を済ませ、お話を聞
きながら、お話を聞かされた
とき、とてもおもしろいと思
いました。



参加スカウトの声

◎オ四団

中沢 佳子

「キャンプに行くと、

五五年度のキャンプも本栖湖だ
た。去年は具合が悪くなり
一日目で帰ってきました。

でも今年「ガンバルゾ」と
いう気がかんばりました。

一日目はテントをはるところ
がいちばんつかれるところで

はじめは場所が悪く、

立てなお
し、

とても
おもしろい

思いました。

おもしろい

一日目の夜、雨がふり、とき
に、立てなおしてよかったです。
思いました。それから「明日
もガンバルゾ」とも自分で
りきかせながらお話を聞
きました。

三日目のあさも、少し雨が
ふりました。けれども八イ
ンクの、帰るとち、

きもちがよかったです。それ
に朝食もおもしろく食べられ
ました。でも行くとき、帰る
るときは、いみち、とても

つかれました。それから、
いろうや、いろううちに夜に
なりました。一日すぎるとい
くのは三日間やりとりました。

二日目の夜、キャンプファイヤ
の準備を済ませ、お話を聞
きながら、お話を聞かされた
とき、とてもおもしろいと思
いました。

三日目の夜、キャンプファイヤ
の準備を済ませ、お話を聞
きながら、お話を聞かされた
とき、とてもおもしろいと思
いました。

四日目の夜、キャンプファイヤ
の準備を済ませ、お話を聞
きながら、お話を聞かされた
とき、とてもおもしろいと思
いました。

◎オ十一団

青

私たち山梨十一団は、

四、五日と乙女高原に

にきました。参加者

は、

アとアラウニです。

アラウニは、

とまりました。

ジュニアは外でテントを

は、二回目ですがね

パンがローにと... 今年のキャンプを私はキャンプの
 はじめて自分た... ぼんを仕事や他にもたくさんのこと
 つくる人もいて、さきあかたをおぼえました。

時はみんなおあ... こびでレ
 た。とてもおうれしかたです。
 ねる時はテントでねるのでみ
 んな夜あそくまでおきていま
 した。

そして三日目の朝は、すばり
 しり雲海をみることもできま
 ました。

よりターや友達とすごした三
 日間ほとともたのしり思り出
 になりました。

都 九団 長沢 由美
 キャンプの反省
 シニアになご初めてのキャンプ
 楽しかったけれど、とてもつか
 れました。

正直いって今までに私のたけ
 んしたキャンプは遊んでる方
 が多かったです。でも今年ばかり
 かいました。こんなにくさ
 んのしごとがあるなんて初め
 て知りました。それでするこ
 とが見つからずまごまごして
 ばかりいきました。これも今ま

野営研修会 開かれる。



雨天のために十二団B部門
 キャンプ中止
 他団都門予定通り実施



七月十二日B部門基礎コ
 ス研修会が開かれ九月十三日
 から十五日まで芦川すずり
 キャンプ場にて野営コースの研
 修会が開かれました。日本連
 盟キャンプ委員の小山トレーナ
 ーを講師にお迎えして各の受講
 生が熱心にキャンパスライセ

りよりリーダーになるため
 真剣そのものです。ぼらしい研
 修会でした。

野営研修会に参加して 中山 敬江

九月十三日降り続いていて雨
 も上り天候に恵まれました。
 講師は小山トレーナーと伺い
 内心ビク／＼し緊張して参加
 いたしました。

ご紹介して頂いたトレーナー
 は大らかなおやさしい立派な
 方にはと致し心はなごんで
 参り何でも質問出来ご指導し
 て頂けるのとポイントに燃えまし
 た。設営、テント、点検、緊急
 キャンプスライヤ、点検、緊急
 集会、撤営等についでの理論
 と実際についで事細かにご指

導いただきました。
 夜のしじま... で新で暖をと
 りながらそのほのかな明りの
 もとで講義を真剣に聞き入
 りにくつか楽しいハンドゲー
 ムを指導して頂きほんとうに
 参加してよかったです。思いました。
 規律訓練で「背すじを伸して

と云う言葉に勇気
 リーダーは万能で
 せられました。
 昔し話を知らな
 景内に在住しな
 れた事に苦勞しま
 りつちに終りまし
 んツは民話を本に
 集めたいと思いま
 した。そのために
 た物に残さず
 集まらずも余りな
 もほとんど有りま
 した。キャンプス
 ィヤ
 野外科理の実習は
 婦の方が多りだ
 よく早く味もよ
 した。そのため
 の感がありました
 せんて学習の足
 り感を感じまし
 ました。野外科理
 の実習は婦の方
 が多りだ。よく
 早く味もよく
 した。そのため
 の感がありました
 せんて学習の足
 り感を感じまし
 ました。

このキャンプで得た色々の知識、
 事柄を元に頑張つて少しでも、
 スカウトたちのよきリーダー
 となるよう努力いたします。
 指導して頂いた皆々様に感謝
 お礼申し上げ今後よろしく
 お願ひ申し上げます。
 ありがとうございます。

ハンドブック利用研修会開催

だ 八月三十日リーダー研修会に
 てバッヂの取り方の研修を行な
 りました。参加者は熱心に、
 バッヂの取り方を小野トレーナー
 支より講習を受けました。

◎小野トレーナーより、リダ
 ーが少し気をつければバッヂ取
 得に結びつけてあげられるの
 で努力してほしいとのこと
 です。
 ◎リーダーがバッヂ取得を知ら
 ず書類等に不備が目立つ等の
 注意がありました。
 その後各部門に別れバッヂ取得
 に結びつけたプログラム立案
 に取り組み、シニアなどは、

より県下一斉に清掃アクシ
 が実施されました。県内スカ
 ウトが同じ時間にどこかの場
 所をそれぞれ真剣に清掃し、
 社会に役立つ婦人になるため
 のアクシスをスカウトそれぞれ
 れ思いを込めて行なうことで
 しょう。
 ごくろうさまでした。

ひろひろな機会を利用しバッヂ
 取得に結びつけてあげられる
 方向にリーダーが一丸となつて
 努力しようとなす手始めに、
 キャンプハンディラリーを利用
 しより市民のバッヂへ宗教探研
 家バッヂに挑戦するスカウトが
 いよいよのでアタクするよう宿
 泊座禅会の計画を立てよう等
 前向きの話し合いがなされ、



キャンプハンディラリー！併催要
 キャンプハンディラリーとは？
 ＊日時 十一月一日(日) 午前十時より 午後三時まで
 ＊場所 社会福祉村
 ＊対象 あけぼの医療センター シニア、レンジャー
 ＊ハンディキャンプの逆語で健常者
 が障害者の立場を知るために
 それぞれのハンディを経験して
 みようというものです。
 今年は国際障害者年、その記
 念事業としてマップハンディラ
 ーを支部とプログラム委員会
 計画しました。国際障害者年
 をこぼだけで終わらせでは
 いけない。上べだけになり真
 の意味をスカウトそれぞれが
 理解しなくてはいけないと思
 います。又障害者年は今年一
 年の行事ではないのです。
 今年がスタート、その記念
 すべき年にスカウトそれぞれが
 ハンディを体験して障害者と健
 常者が一体となりえる社会建

設のための糸口と
 リーが計画されま
 シニア、レンジャー
 このチャンスに経験
 (より市民)結び
 深く学びましょう。
 内容は
 ◎車いすに乗ってみ
 ◎目の見えな
 ◎手足の不自
 ◎ろうあ者の体
 等です。たくさん
 の参加をお待ちして
 ※マップハンディ
 に始まり日本
 学の飯田教授
 カウト等で普
 一人者とされ
 今回は飯田教
 告資料よりア
 したでござい



お知らせ

●バッヂ申請受け付け

日時 十月三十日
午前十時〜午後二時
場所 支部

お忘れなくバッヂ申請を
どうぞ!

●リーダー養成講習会

日時 十一月六日〜八日
場所 富士吉田青少年
センター

リーダー希望者はどしどし
ご参加下さい。

支 部 だ

●本年度よりソロプチミスト
から山梨県支部に対して
三万円の御援助をいただき
ることになりました。
スカウトのみな様にお知ら
せすると共にお礼申し上げ
ます。

●シリウスの伝説映画販売に
より五万二千二百八十円の
利益がありました。

●ギヤザリング参加県代表 決定!

一団	レンジャー	
一団	河野みどり	高二
一団	レンジャー	
	鷹野 梓	高一
三団	シニア	
	井出めぐみ	中三
四団	シニア	
	大塚紀世子	中三
九団	シニア	
	山寺美由起	中二
十団	シニア	
	嘉村知子	中二
十団	シニア	
	長沼浩枝	中一
十二団	シニア	
	梅沢 緑	中二

ギヤザリングとは前年度まで
十年間続いた青年会議の成
果をふまえて本年度から、
新しい構想のもとにシニア
レンジャー対象に全国四会場
で開催されます。
やくそくで結ばれた少女た
ち・私とガールスカウトメン
グのテーマで開催されます。

雑感

スカウトもリーダーも何らかの意識が心に残るよ
キッパハンデーラリーができたらすばらしいぜろ
そうあそほしりと思いはがらある青年のことかふと
に浮かびました。その青年は軽度の精神薄弱者で
学校は九年間「お客様」あつかりで過し、いつも
バカとののしりれ、さげすまされていた子です。
彼は、地域の偏見視に耐えながらも、いつも明か
人なつこい子でした。義務教育を終了すると同
A会社に入社し特別安い賃金でも不満もいわず以
少しも変わらぬ。私にとこそそれが不思議でした。
多くの場合何らかの形で挫折してります。そんな
いられる原因が地域の青年団活動でした。団員産
彼を少しも偏見視していません。彼は楽しくて任
ないというように張り切、て活動してります。
お祭りにかぐらを復活させるため団員達は張り切り
した。そしてすばらしい舞台を演じました。その中
間違えながらも一生懸命踊る彼の姿が見られまし
これこそ障害者年制定の意義と感動しました。
私達もこの団員のごとく平等と完全参加の実現を
したりものです。それぞれの中にも障害者も
びとスカウト活動をしている姿が見られる時が
くおとずれるように努力いたします。

編集後記

一ヶ月遅れの支部便りをお届けいたします。
ご意見等どしどしお寄せ下さい。
遅れましたこと心よりあわびいたします。

参加して

四日同六田の、

屋野豊子と九田の角井節子と各リーダーが戸穂のリフレッシューキャンプに参加され、貴重な経験を積んでいらっしやりました。電話で感想を簡単に伺いましたので、それをまとめてお知らせします。

二人共自然が美しく、山並み、一面の芝生、水芭蕉とただただ感激したそうです。キャンプ中は自然味を生かし、穂の芽やニ輪草の天ぷらやおひたし、おいしかったです。たことは言うまでもなく、キャンプ料理に自然食がすぐ使える環境のよさ等一度はスカウトもリーダーも戸穂でのキャンプを経験したらすばらしいと思う、とのことです。戸穂に行くまでの汽車の中、

寝るのも忘れて手旗、ロープ等々事前学習に熱中したそうです。大人になってから試験の前日のごとく取り組んだ学習も忘れられない思い出だそうです。

全国各地から学ぼうとするリーダー達が集ったことでスカウト活動の違い等も交換でき、キャンプでの親近感も手伝って仲間作りも、四かり出来、活動の広さがかわりスカウト活動のすばらしさを実感したようです。私達も二人のリーダーが感敷した戸穂にチャンスがあらせび行きましょう。

56年度 登録状況

登録人数	
クラブ	179名
ジュニア	232
シニア	120
レンジャー	17
アドバルト	82
リーダー	82
団員	76
合計	788

国際委員会より

海外派遣募集について
日本連盟では表記の件につき左記のように派遣志望者の募集を行っております。

記

一場所 インドサングスワルドセンター
二目的 障害者のためのホリデーキャンプ(会館)の奉仕
三期間 56年11月20日～25日
四参加資格 リーダー(20歳以上)募集人員 3名
五参加費 全額日連負担
六(運賃)都営連補助

七申込期間 七月十五日迄
八選考日 七月十九日(午前10時)迄
支部へ切は七月十五日迄
指導者養成委員会より
研修会(千早元)実施
野宮コース 56年7月(2日)

9月13日～15日 (いづれか)
9月25日～27日 (2泊3日予定)

リーダー養成講習会

11月6日～8日

- 1. 組織委員会の組織の構成と運営の事(新団結成の指導)
- 2. 支部組織の強化
- 3. 登録及び登録審査
- 4. 育成団体に關する事
- 5. 地域内に於ける他団体協調に關する事
- 6. 成人(団委員、アドバルト)教育の事
- 7. 開拓委員制度に關する事
- 8. トレノイルに關する事

編集後記

キャンプシーズンに活動も一段と充実し上っていること、キャンプの原稿など、中の出来ごと等とし委員会までお寄せ下

支 部 だ よ り

リフレッシュキャンプに

参加して

四日間六田の、

屋野豊子さんと九田の角井節子さん
各リーダーが戸穂のリフレッ
シュキャンプに参加され、貴
重な経験を積んでいらっしや
りました。電話で感想を簡単
にお聞きしましたので、それ
をまとめてお知らせします。

。二人共自然が美しく、山並
み、一面の芝生、水芭蕉と
ただ、ただ感激したそうで
す。キャンプ中は自然味を
生かし、木の芽やニ輪草の
天ぷらやおひたし、おいし
かったことは言うまでもな
く、キャンプ料理に自然食
がすぐ使える環境のよさ等
一度はスカウトもリーダー
も戸穂でのキャンプを経験
したらすばらしいと思う
とのことですよ。

。戸穂に行くまでの汽車の中

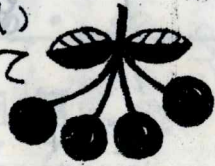
リフレッシュキャンプとい
うことで、二人のリーダーは
寝るのも忘れて手旗、ロープ
等々事前学習に熱中したそ
うです。大人になってから
試験の前日のごとく取り組
んだ学習も忘れられない思
い出だそうですね。

。全国各地から学ぼうとする
リーダー達が集ったことで
スカウト活動の違い等も交
換でき、キャンプでの親近
感も手伝って仲間作りもし
かり出来、活動の広さがわ
かりスカウト活動のすばら
しさを実感したようですよ。
私達も二人のリーダーが感
激した戸穂にチャンスがあ
らぜひ行きましょう。

56年度
登録状況

登録人数	
ブラウニー	179名
ジュニア	232名
シニア	120名
リーダー	17名
アクト	82名
リーダー	82名
団委員長	76名
合計	788名

お知らせ



★国際委員会より
海外派遣募集について
日本連盟では表記の件につ
き左記のように派遣志望者
の募集を行います。

記

- 一、場所 インドサングムワルトセンター
- 二、目的 障害者のためのホリ
デーキャンプ(舎営)の奉仕
- 三、期間 56年11月20日～25日
- 四、参加資格 リーダー(20歳以上)
- 五、募集人員 3名
- 六、参加費 全額日連負担
(運賃一部日連補助)
- 七、申込期間 七月十五日(日)連出着
- 八、選考日 七月十九日(日)午前10時
日連事務局
- 支部メ切は七月十日(日)まで
★指導者養成研修員会より
- リーダー研修会(ホキ単元)実施
基礎コース 56年7月12日(日)
- 野営コース

9月13日～15日 (いづれか)
9月25日～27日 (2泊3日予定)

リーダー研修会

バッヂのとり方 8月30日(日)

リーダー養成講習会(富士吉田)

11月6日～8日

★組織委員会より

1. 団組織の構成と運営に関する事(新団結成の指導)
2. 支部組織の拡充強化に関する事
3. 登録及び登録審査に関する事
4. 育成団体にに関する事
5. 地域内に於ける他団体との連絡
協調に関する事
6. 成人(団委員、アドルト)教育に
する事
7. 開拓委員制度に関する事
8. トレファイルに関する事

編集後記



キャンプシーズン到来!!
団活動も一段と充実し、盛
り上っていることでしょうか。
キャンプの原稿など、夏休み
中の出来ごと等ごしどし、
委員会までお寄せ下さい。

支部便り

昭和56年度

No.3

社団法人 ガール・スカウト日本連盟

山梨県支部

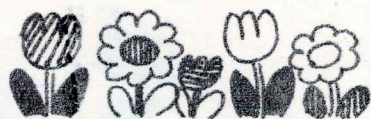
S.57.2.20



(10団ブラウニー 地場洋枝)

B-Pのことば

大きな事をするときには、あれこれと質問ばかりしないで、
どんどん実行すること。
それが人生での成切の道である。



私のスカウティング

依田 喜栄

私がガールスカウティングに入ってから20年になろうとしています。ガール・スカウトのことについては何も、識らなかつた私に、スカウティングについて、いろいろお話し下さり、おさそり下さるのは今井トレーナーでした。

トレーナーとは親しくお話ししたのはその時が始めてでした。過ぎ去れた日々を憶いますと、もしあの時のおさそりがなく、只主婦業のみの20年でしたら、それはあまりにも、貧弱な味気ないものではなかつたかと思ひます。PTAとも縁が切れあまり家庭外との係りのない年令でしたが、それからはスカウティングが私の生活の大切な部分になってしまいました。それだけに私が得たものも大きなものでした。

それは同じ目的を持った方々との友情でした。県内にも県外にも沢山のお友達を持つことが出来ました。ライセンスへの挑戦もありました。それは私には、厳しいものでした。でも私にもまだやれば出来ることがあるという自信を持たせてくれました。その他子供の時一度してみたいと思つていた野外生活も少女達と共に毎年経験しています。これからも許されるかぎりには皆様の友情に支えられてスカウティングを続けてゆきたいと思つています。

つれづれに思いしことごと

今井 温子



〇時にリーダーを喜ばせ、元気づけ、笑わせ、勇気づけ、なげかせ、怒らせ、悔しがらせ、省みる必要を悟らせる我が少女達は妖精か、はたまた曲者か、めまぐるしく、また奥深い対象者なのである。

○この美しい自然を拵つ山梨のスカウトが、恵まれた環境を十分に生かし、更に感謝を知る一人一人に育つよう切に切に祈るものである。

○少女会員ほどのように、この活動を理解しているのか？それは各自少女の年令、熱心さの度合、更に「やくそく」「おきて」の本質にふれるやさしい心を持つかによるが、リーダーとし日頃の指導がいかに大切なのかを、泌々思い反省するものである。

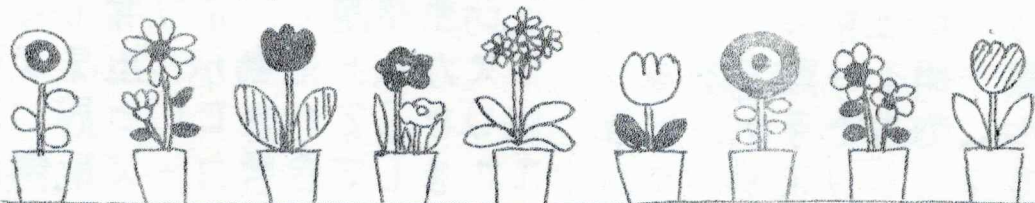
○人の模倣ではない人生を送りましょう。
一人一人の新鮮な魅力はそこから生まれ
スカウトにも好まれるものと確信します。



○新聞等の各記事を集会に於てリーダーが活用することは、訓練の内容を豊かにします。お互に努力し、僅かな時間もこれらを読む習慣をつけましょう。

○春のきざしを四圍に感じる時、よき次年度を終始させる為、プログラムの新鮮さを、お互に図って行きましょう。知っている事々も改めて思いめぐらす時にこそ、更に活き活きして来るものなのです。

○ジュニア組長訓練に際し各団リーダーは協力し出席されたい。なぜならばスカウトが何を学び、何を注意されたかは、その場に参加しなければ知る事が出来ない。一人のリーダーが全プログラムに参加出来なければ分担でもその成果はあがると信じます。



「ガールスカウトキャンプ舎営取得コース」を終えて

13団 河野 可津子

昭和57年の新春を迎えた1月の16、17日「ガールスカウトキャンプ舎営取得コース」が岩湫町の青年の家で行なわれました。講義の中で私の胸が「ドキッ」とする様な言葉を耳にしたのをおぼえています。それは、よりよいリーダーとは、「何が起こるかかわからないキャンプ中などで冷静沉着で頼もしい態度を取り、どんなにつらい時でも運命は我が手中に有りとうそぶき動揺を見せる事がない、そうした強さを身体いっばいに溢れさせる人こそよりよいリーダーである」と言うのである。すばらしいリーダーと考えるたび、常に自分自身の不勉強ぶりに反省をさせられます。私は人よりも甘えが少し強いのではないかと思う。「このライセンスは、誰かのリーダーが取得してくれるのではないか。」そうすれば自分は、その場が逃れられると思うのである。とても悪い人間だと思う。でも「甘えが、日本人特有の心理現象である。」と何かの本に書いてあったことを思い出す。でも、それでよりのだと私は思いたくない。舎営コースを終わる頃には、昨夜降った初雪もいつの間にか消え、帰宅途中、車のハンドルをにぎりながら口ずさむ、覚えたばかりのキャンプソング、こんな時私はつくづくガールスカウト活動のすばらしさを感じます。それは決まってスカウト活動を終えた帰りにいつも思えます。その場へ行く時の気持とはいくら考えても同じにならないのです。終えた時、何かを得た喜びが私をその様な気持にさせるのです。そして明日からの、ガールスカウト活動のため、リーダーとしての責任の重大性を自覚し、スカウト達へのよりよい環境作りと、社会的地位の向上をめざし、相互に切磋琢磨し、より楽しく、健康で明るい魅力あるガールスカウト活動が、出来まように微力ですが、お手つ伝いをしていきたいと思えます。すばらしいスタッフにめぐまれて舎営コース取得が出来ました事を心より感謝致します。有難うございました。

九団 クリスマス会

角井 節子

12月19・20日ハヶ岳少年自然の家にてクリスマス会を開催。ブラウニー、ジュニア、シニア、リーダー計45名の参加者が雄大な自然と研修所を一手に我がものとして大りに学び楽しんだ1泊2日でした。

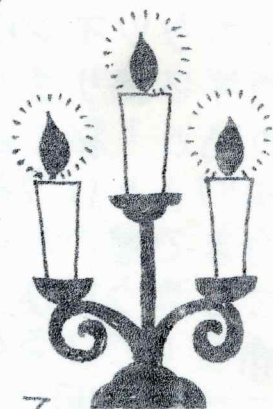
夜7時からのクリスマスの集り、窓辺にはドラマのごとく小雪が降り、ローソクの火にかがやき雰囲気満点。

部門ごと又組ごとの出しものもパトロールの強化が伺え、ガールスカウトならではと感じられました。記念撮影にて集りもとじケーキを頂き静かに部屋に。

キャンプとは違いシニアからブラウニーまでお互いに助け合い思いやりの心をもての生活、組長さんの床を作ってあげるなどこの会ならではと感じました。

翌日は木の葉皿作りに精出し、自分の皿として今後おやつを頂く時に使用することでしょう。

クリスマス会を泊りで行ったのは初めてでした。しかし楽しく小さい人から大きい人と何かにつけパトロールシステムのもてで上手に出来よい会だったと思っています。



舎営キャンプ研修を終って 一団 三浦 美枝

昨年9月野営キャンプ研修を受けた時、リーダーにはなりたて、キャンプ経験1回という私は、何も知らない自分を恥ずかしく思ったのと、研修終了の日、トレーナーから受講リーダーはキャンプ経験3回以上が望ましいと言われました。必要に迫られたとはいえ少し早過ぎたかな?と反省もしました。にもかかわらず、今回も又もやその言葉にもめげず舎営キャンプ研修に参加致しました。今回の受講生は11人、皆さんもう顔なじみのリーダーばかり、中には指導者養成講習会から4回ごいっしょというリーダーも

いて、研修で逢う毎に一步も二歩も前進しているのに、目を見張ると同時に自分の進歩のなさを知り、こんなことでいいのかしら、といつも自己反省させられます。

前回の野営キャンプ研修がきつかったせいか、合営はブラウニー対象ということもあり、時間にも余裕があった様な感じで、室内ファイヤーも楽しく勉強でき、何とかやれるのではと自信を持ちました。

二日目の朝のうすらとした雪化粧には驚き、ささく自然とはなどと教わりたての言葉をみつけたりしました。

スカウトオンは室内で行われ、飯田リーダーの国際障害者年は終わりましたがという前おきとお話があり、そのあと「私に健全な日が三日あれば」(リーダーの友 No.77)という高一の少女が書いた詩が読まれました。

今まで道で会っても「あ、障害者」と目で見て感じ通り過ぎてしまうだけで、この障害を持った人達が何を思い、何を希望しているのだろうかなどと考えもしなかつただけに、この詩を聞いて障害を持つ人の思い、あるいは願いが、私達健康な者にとっては、日常生活の何でもないことだということを知られました。本当に思いもかけず私の胸にじんときた詩でした。何気なく外の雪に目をやりながら受けたこの朝の感動は、二週間たつた今も変わりません。機会があたり集会の時スカウト達に読んで聞かせよう、スカウトはどんなことを感じるだろうか、そんなことを思いながら時々読みかえしています。いっしょに受けたママさんリーダーの方達は、皆さん年をとった時のことを考えて何か生きがいが必要だと思いリーダーを選んだと言いました。私もその一人、幸いにして私は毒であり、母である。そして健康そのもの、少し努力すれば障害を持つ人の何倍もの事ができる。そんなことを思いながら、年をとった時のためにではなく、いつまでも年をとらないためにリーダー活動しよう、そしていつかこんな心に残るスカウトオンが出来る様に頑張らなくてはと思っています。

スカウトのページ

ジュニア組長訓練に参加して 10団 花田 信子

私は1月23、24日に一泊二日で甲府の愛宕山少年自然の家で行われるガールスカウトジュニア組長訓練に参加しました。望月千夏さんといっしょに都留の社教センターに行き佐藤リーダーの車に乗って甲府に向かいました。

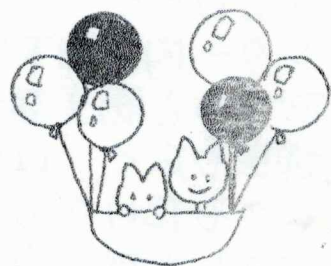
車の中では訓練はどんな事をするのか友達ができるだろうかと不安でした。途中、愛宕山の附近で山火事がありおくれしてしまいました。ついたら、みんなはもう大ホールにあつまっていました。私達10団だけがおくれたので、はずかしくてたまりませんでした。

開会式が行われ、少年自然の家の説明を聞き、タベの集いをしました。私は運よく吉田のりといっしょになり、部屋に行たらもう1団のスカウトがいました。みんな五年生どうしすぐ友達になり、楽しく話をしました。

その後、全員で夕食をしました。初めて会ったスカウトであったので静かでした。夜は、大ホールでガールスカウトの歴史を学びました。部屋にもどりねる仕度をしました。みんなでいっしょに歯をみがき消灯したが、みんなねむれず本を読んだり、荷物の整理をしました。時計を見ると11時10分前ぐらいでした。となりの部屋で「リーダーが来た」という声が聞こえ私もその言葉を聞きあわてて電気を消し、ふとんの中にもぐりこみました。

何分たってもリーダーは、きませんのでまたおき出してきて、本を読んだりしました。私は11時30分ごろようやくねむりました。

朝、私はとなりの部屋のにぎやかさで、目を覚ました。朝の集いをすませ、朝食をしました。



1 団の山田リーダーのきびしい規律訓練を受けました。

何から何まで、ピシピシとしごかれました。

その後、ゲームは私の知らないゲームを色々教えてもらいました。

昼食が終り、またゲームをして部屋にもどりました。

制服に着がえ大ホールで閉会式をして、みんなと別れました。私はこの訓練に参加して、学んだ色々な事をガールスカウトの集会に役立てていきたいと思ひます。

そして訓練で学んだ事をむだにせずりっぱな組長になりたいと思ひます。

キャップハンディラリーに参加して

10 団 天野 志保



11月1日私たちは6 団の人と(ふし)に
あけぼの医療センターに向かいました。

閉会式が終わって、福祉村のフィルムを見ての説明、医療センターの見学をしました。福祉村は案外広く、いくつかのセンターが渡り廊下でつながっているそうです。

障害者の方が多いため、かなり設備が整っているようです。勉強、ふとんのたたみおなどを指導している指導員の人に感動しました。とても驚いたのは、運動会があるということです。フィルムで見ただけですが、笑っているのに気が付きました。苦しいだろうと思つたが、それだけ楽しくうれしだろうということが心に伝わってくるようでした。センター内は廊下が坂になっていました。これも訓練のためだろうと勝手な想像しながら見学をしました。

訓練室も広く、いろいろな機具有りました。お風呂に入るのもたけへんだそうです。私はかわいそうと前から思つてましたが、指導員の方が「じろじろ見るようなことはやめてください。」と呼びかけていました。集会の中であらかじめ話し合つておいた時のことを思い出して、やはり

りなと思いました。

昼食が終わり、障害の体験が行われました。始めは点字の解読と袋の中の物をさわってあてるという内容でした。点字が打ってある紙を見て、こんな小さい点で読めるのだろうかと思議でした。あせていきましたがなんとか全部解読できました。もう一つの方は以外と簡単でしたが、百円玉か十円玉か、五円玉か五十円玉かよくわかりませんでした。

手話は集会でやっていたので早かったです。でも、行きのバスでおぼえたのはたいへんな苦勞でした。

車いすも以前乗ったことがあるので楽でしたが、坂の上り下り、でこぼこ道の上り下りするのはいへんでした。松葉づえは、昔よく遊んでましたから満足にできました。でも片手に木を持つと、手に力が入りすぎて、転びそうになりましたがコップの木は無事でした。

最後のバッチづくりは右手のありがたさを知りました。今こうして書いている文字も左手では書けなりのです。その左手ではさみを使うとは無理なことです。二人で協力してちともうまくりきませんでした。仕上がったバッチは自分でも笑ってしまうようなものでした。

こうして、キャップハンデラリーは終了したのですが、半日もなり時間でいろいろなことを学び、体験しました。私の市ではあまり見かけませんが、上野へ正倉院宝物の展示会を見に行ったら、車いすに乗っていた少女が迷ってしまい、困たのを見つけると車いすを押させてもらいました。これからもあのラリーの時の体験を奉仕に役立てたいと思います。



GATHERINGに参加して

1団 河野 みどり

私は、このGATHERINGで一番感じたことは「相手の立場に立ってその人の立場を理解できるか」ということ

でした。こういう設問は、いろいろな所で話題とされ、なぜかいつも新しいひらめきがありませんでした。しかし分科会の時、助言者の先生が「最近の青少年は自己中心型である。」とおっしゃったのを感じています。それを聞いた時、ガールスカウトである自分はどうかと顧りみる良い設問だと思いました。

人間である限りだれもが自分可愛さに、自己中心と化してしましますが、せめて今、こういう問題に取り組んでいる私達は少しでもそういう青少年の問題からぬけ出したと思うようになりました。

その自己中心というのほいろいろな面で広い意味があり、又その理解の仕方さまざまあることにいろいろな人の話を聞いて気付きました。特に基調講演の先生がおっしゃっていた共感的な理解の仕方です。この理解は年の差すなわち世代のちがいや、同じ文化の中でも地方でのちがいが出てきますけど、そう客観的に物事を見ないで心を開いて、私たちがその人、その人の尺度で理解することは、すなわち感じ取ってあげることです。

しかし今こうしなさいといわれてもできないことは言うまでもありません。ですから、今からの生活、特にガールスカウトにおいて、このGATERINGに参加した意味、目的をしっかりと心に留め自分なりに強く、又完全な人間を形成して行きたいと思うようになります。



シンキングデー

10回 磯 まゆ

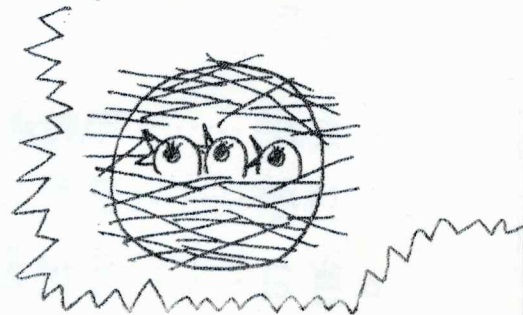
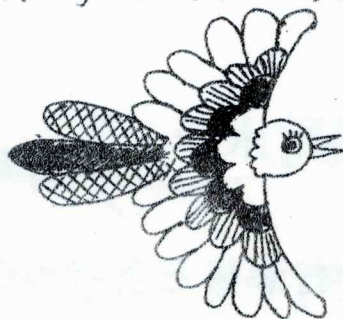
2月21日山梨市へシンキングデーに行きました。わたしはかほちゃんといっしょにならんで行きました。今か今かとまっていたシンキングデー。わたしは早くほかの団の人と、友だちになりたいと思いました。中はとってもきれいです。荷物をあけてみんなの所に行きました。さしは団の、

しょうかいでした。10団のばんがきてわたしたちは「歌えバンバン」を歌いました。さりごの団はジュニアが3人くらいしか来てけなりので少ないなあと思いました。たのしい団もあるし、おもしろい団もあってとってもよかったです。山なじの民話も聞きました。ゲームではほかの団の人の住所と名前と団を書いてもらうゲームをしました。わたしはさりごに「書いてくれる」といわれたので書きました。その人はとても楽しくておもしろい人でした。わたしは5人の人に書いてもらいました。とても楽しリシンキングデーでよかったですなあと思いました。



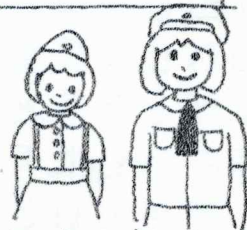
ジュニア組長訓練に参加して 川田 佐久間 明美

愛宕山少年自然の家で、ジュニア組長訓練が行なわれて、11団では4名が参加しました。リーダーがだれも行ってくれなかつたり4人がばらばらの班になってしまったので、とても心細かったです。でもすこしたってみると、だいたいの人になれてしまい、夜になって、消灯時間がすぎても、いろいろ楽しい話をしていて、リーダーに注意されるほどでした。つぎの日の朝食のあと、歌やゲームの指導をしてくれて、知らない歌やゲームをおぼえました。それから規律訓練に入りました。すこしきびしかたけど、勉強になりました。昼食がすんでからは、あっという間に時間がすぎたてしまい、閉会となってしまいました。閉会になった時は、もっといっしょにいたり気持ちいっぱりでした。



常任委員会のページ

◎ 庶務委員会より 各団にお願い。



- 入団式、フライアップ式を前に用品申し込みをする時期となりました。各団お忙しく大変とは存じますがまとめて必ず伝票にてお申し込み下さい。尚2月1日より価格の変更が少しありますのでご注意下さい。
- バッチ申請を行い受理された後にバッチ申し込みをされ購入して下さい。


◎ 財務委員会より お願い

一年で一番寒さを身を感じる如月、皆様お元気で
お越しの事と存じます。私はスカウトの事は右も左
も解らぬまま依田支部長の命を受け、財務の仕事
をさせていただいておりますが 56年度は前財務部長
西中山様のご指導を仰ぎながらどうやら一年を終え
少しは団の資産が増えた事を会計の飯田様に喜んで
いただきました。これも団を愛する皆様のご協力の
賜物と担当委員として深く感謝いたします。
つきましては、57年度もバザーの実行が決定されま
した。

- 会場…………… 甲府商工会議所ホール
 - 日時…………… 3月21日
 - 当日…………… 9時集合 (実行委員とお手つ伝い下さる方)
-) 昨年同様

販売開始は 11時

○バザーの形式

1. 手作り品外依託品、商品販売等、各団のアイデア品をご持参願ひその売上げは各団の収入のこと
2. 団員スカウト1人1点以上遊休品を出来るだけ沢山ご寄付を願ひその売上げを団の収入とする(酒類はご遠慮下さい)
3. 喫茶、ドーナツ、すし類は支部扱いとします。
4. バザー準備(実行委員の方々へ)
 - 3月16日 10時~3時 17日は午前中までに遊休品を事務局まで持ち込んで下さい。
 - 3月17日 正午~3時 18日 10時~3時まで品整理と価格づけ
5. 宣伝は新聞の赤電話を利用し 外ポスターは各団のスカウトが作製した物を掲示願ひます。

以上今年度のバザー要項をご報告致します。

一人一人がスカウト■へのご理解とご協力の程お願ひ致します。

尚 今回急なお願ひですがサンリオの映画二本立

『戦場の小さな恋人たち』

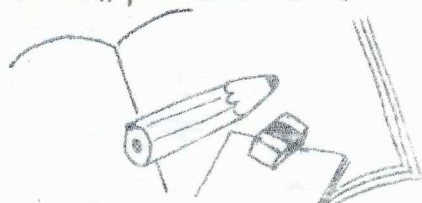
『我が青春の輝き』

入場券 1,100円

期 日 2月27日(土)~3月12日(金)

入場券販売の依頼を受けました。少しでも団のお役に立つことが賅務の責務と考えお引き受けいたしました各団(団中の団のみ)にご協力をお願ひし、団員長様

に入場券をお届けしてありますので、大勢の力と和の力で一枚でも多く売り、更り多い結果を得る事は支部発足の基盤作りの一端故、何卒この件にも御心をよせていただきたく、お願い申し上げます。



◎ 指導者養成委員会より

ガール、スカウト(年長、年少)公認指導者養成講習会が開催されます。

日時…… 57年3月12日(金)～14日(日)
12日午後12時30分受付、1時開講
14日午後4時閉講

場所…… 県立青年の家

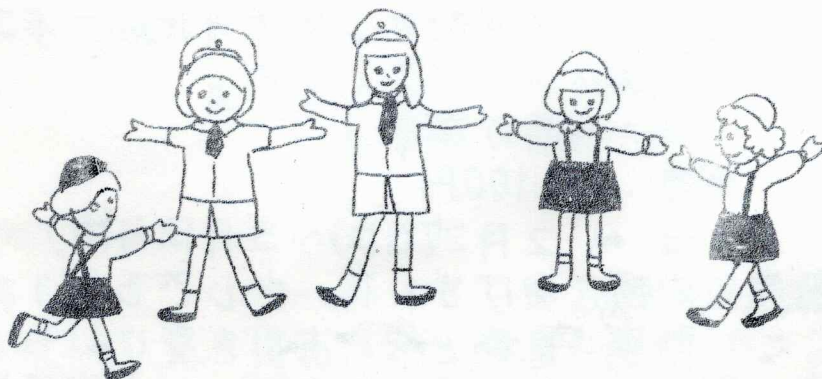
経費…… 2000円

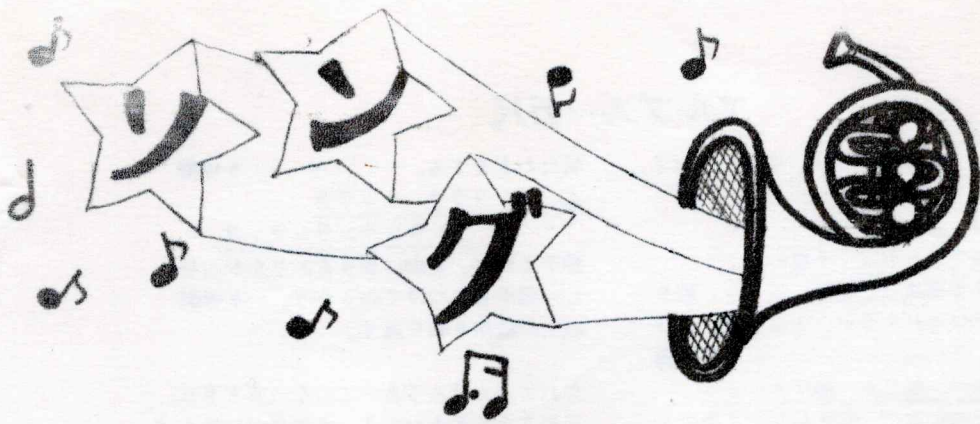
※ 詳細につきましては、各団の団委員長又は指導者養成委員会にお問い合わせ下さい。

◎ プログラム委員会より

バッヂ取得申請日は3月31日です。お忘れなく!!

- 申請日当日 56年度の実施プログラムと57年度の計画表を各団ごとに20部印刷して提出して下さい。(大きさはB5判レポート用紙でお願い致します。)





あしたへの手話



あしたへ 小田 博 曲・詞



数え指

ポイント 歌に合わせて指の屈伸を行なう。
 すすめ方

- 両手を握って前に出す。
 1は 親指を出す。
 2は 親指と人差し指を出す。
 3は 親指と人差し指と中指を出す。
 4は 親指をまげ他の4本を出す。
 5は 全部出す(手を開く)。
- 「A、B、Cの歌」のメロディーでリーダーは1から5までの数を適当にうたう。それに合わせて指を屈伸する。はじめはゆっくり、やがて早く。「1、2 3、4、2、4、5」「3、1、5、2 2、4、5」「2、4、3、1、5……」

アルプス一万尺

隊形 2人1組となり、自由な隊形で、向き合って立つ。

〈踊り方〉

- ① アルプス一万尺 小槍の上で
互いに4歩前進して相手に近づき、相手と両手のひら打ち合い、4歩後退してはなれる。…………… 8呼間
- ② アルペン踊りを踊りましょう
各自はその位置で、右まわりに4歩で1回転し相手と向き合ったまま、ピョンピョンと2度ジャンプし、ついで「足じゃんけん」をする。…………… 8呼間
- ③ ランラララ ラララ ララララララ
足じゃんけんて負けた人は、勝った人の

肩たたきをする。…………… 8呼間

④ ランラララ ララララ

ランランランランラ

相手と別れ、自由に歩きまわりながら新しい相手を見つけて向き合う。… 8呼間
以上の動作を繰り返す。

なおじゃんけんであいこになったときは、その2人で手をつなぎ、8歩自由に歩く。「足じゃんけん」は両足そろえたのが石、左右に開いたのが紙、前後開きはハサミである。

民話

ひなづる姫



鎌倉幕府の勢力があとろえ、南北朝時代になった。今から六百四十年あまり昔のことです。

武家政治の復活をねらって天皇にそむいた足利尊氏を除くため天皇から命をうけた第3皇子護良親王はとらえられ首をうたれてしまいました。親王の顔が生々しく、きと見開いた目に恐れをなしその場の草むらになげすててしまいました。

親王の家臣は親王の首をひろい、后をうれて京都に行こうと鎌倉を出ました。追手からのがれる為鎌倉の裏街道を逃げることにし苦難の果てに甲州郡内秋山郷へ入り桜井部落までにげてきた時、身重の姫は疲れ果て、とうとう産気づき従者たちが民家に助けを求めましたがどの家も宿をかしてはくれませんでした。それで姫の一行は無情な部落だとなげき、以後無情野とよびその後無生野

です。先生方もびっくり。だって排泄指導がだまっていたら出来たのですもの。現在だってちゃんとトイレですましてやります。

それからめきめきモモコは人間らしくなりました。

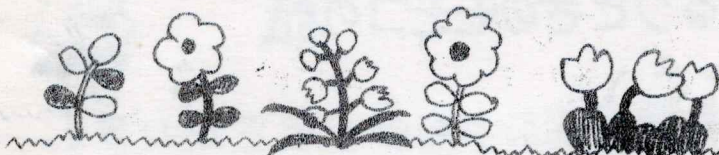
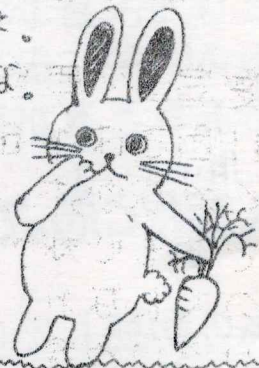
うさぎの食べ物人参とすりたのにモモコの好物はあまりもの、チョコレートやケーキ、おせんべいだってバリバリ。給食の時は皆のそばにきて、おこぼれをむしゃむしゃ。先生方のお茶の時は呼ばなくても、ちゃんとやって来ておやつをさく。ズボンをはいたり、かじったり、目あてのものをしかりりたいてごきげん。

まだおどろくことがあります。

モモコはボールあそびをします。玉のりに挑戦中です。たのしいうさぎでしょう。

人間のすることは何でもやってみるんですから、きっと本人はうさぎだなんて全然思っていないのですよネ。

一度このかわいいうさぎ見学に来て下さいな。待ってますヨ!



編集後記

本年度も終りに近すぎ、あわただしい日々を過ごしていませんか。

広報紙も忙しいととうとう年4回発行を計画していたのに3回しか出せませんでした。申し訳ありません。今回はソングやゲーム等ものせてみました。いかがでしたでしょうか。

アイデア、新しいゲーム等お知らせ下さい。

と呼ぶようになり、現在も地名として残っています。
さて姫は止むを得ず川原でお産をし、王子を出産しまし
たが、王子は間もなくなくなり、王子の死を悲しみあと
を追うかのごとく姫も息をひきとりました。12月28日の
寒い北風の吹く夜でした。従者達は姫と王子を秋山峠を
越えたところに葬り松の木を1本植えました。以後この
峠を「ひなづる峠と呼び現在も松の木が1本高くそびえ
ています。

その後無生の部落の人は、姫の悲しみを聞き、かわりそ
うなことをしたと正月を祝うためにかざっておりた松をほ
ずし櫛(しきみ)の枝をかざり弔意をあらわし以後無生
野部落では松かざりをやめたそうです。

現在秋山村のとなり盛里村(現在の都留市朝日馬場)の
石船神社に護良親王のお首と言ひ伝えられているミイラ
になつたお首がおさめられています。毎年1月16日の日の
出の時間にお首のお守り役の引きつぎがあり、一般の人
もお首をおがむことができます。



人間だと思っているうさぎのモモコの話

私の勤務している養護学校に1匹のうさぎがいます。
その名を「モモコ」として1才です。

モモコは生まれて数ヶ月で人間と共に暮すようになりま
した。最初は知恵遅れの子供達に追いまわされて、逃げ
まわっていたのですが、子供達が自分をいじめめるのではな
くて遊び相手にしてくれているんだなあーとわかったのか
子供達とたのしもうにかけこをするようになりました。
なにしろ、モモコは巢と名のつくうさぎの家には入りず
広い校内を自由にハネまわっていたのですから、せまり所
などいやにちがいません。めきめき大きくなりよく
食べます。

この学校に来て3ヶ月位経た頃、おどろくことが起きま
した。モモコはウンチャおしこを皆と同じトイレに行っ

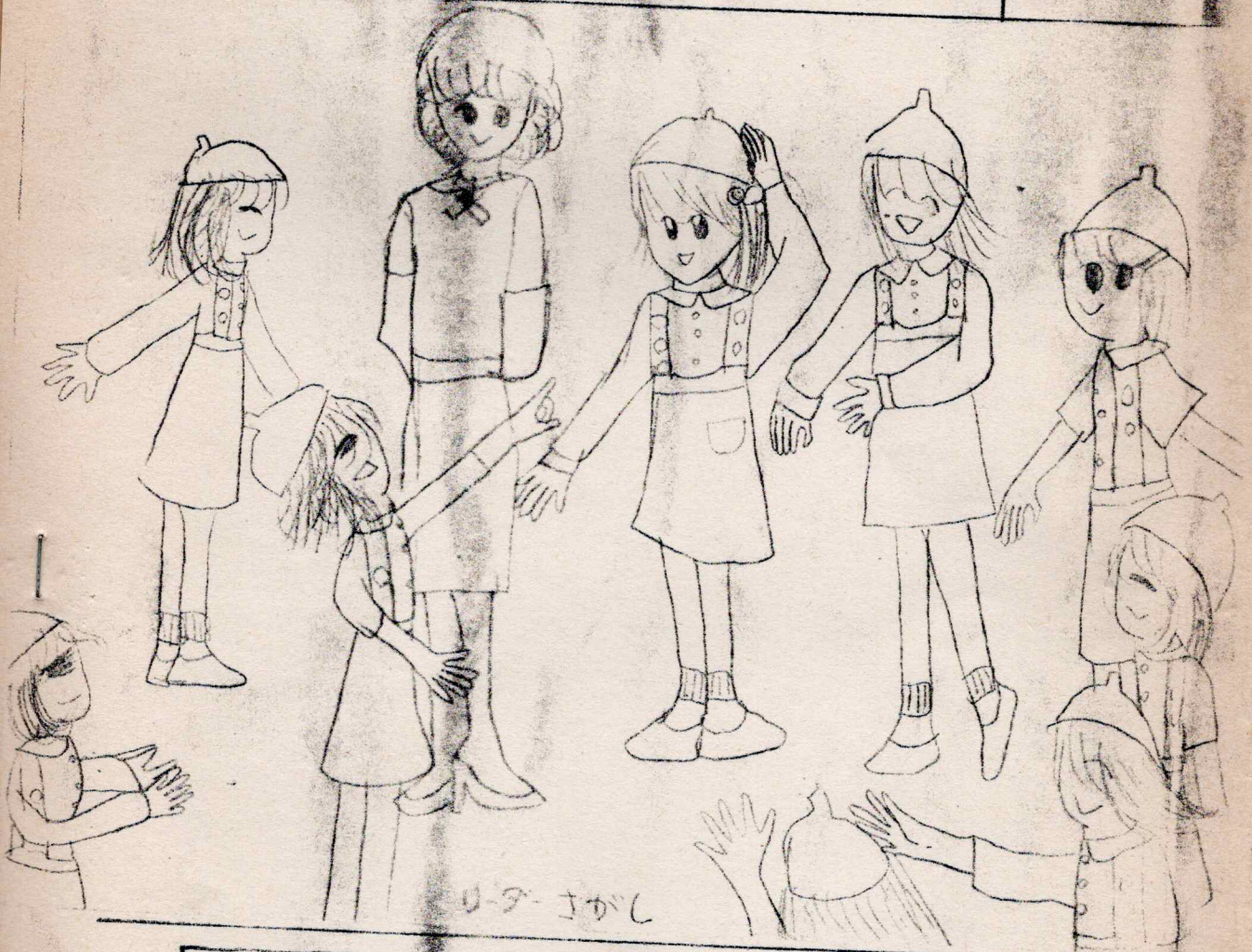
後援後り

昭和57年度

No.3

社団法人 ガールスカウト日本連盟
山梨県支部

S.58.1.31.



リターナガシ

B・Pのことば

絵 10団 望月 恵

人生で何か小さい事から始めて、それを成功することに絶望的になら。かしのように大きくて強い木でも最初は土の上にくろがっている小さなドングリであ。た。い。う。こ。と。を。思。い。出。して。見。よ。

リーダーのページ

年のはじめに

今井 温子

新春の寿ぎと共に、人はこの年こそはと何事かに意を燃すものである。私もこの一人でガール・スカウトに关しては礼儀の正しさをお互に学び合いたい。私達の一生に於て、その礼儀はどのようにプラスにもマイナスにもなることか。あつと湧く礼節は決して堅苦しいものでなく、感謝の心があれば自然と頭はさがり、悲しき、祈りはその身边に漂い、喜びは四圍を明るく彩るものである。身边に不目を持つ、持たされることのなりよう心遣いが必要と思われる。その一つに、お箸の使い方があつる。握り箸の多い子供があまりにも沢山すぎる。永い伝統によつて工夫された現代の箸の使い方は機能にかなつたもの、きれいな仁草では云わないうまでも普通に使つたものである。是非リーダーの方々は勇気をもつて納得のゆく指導を機会を作り実践されたい。更に一つ、私たちリーダーはこの一年間に身につく本を読んでいただきたい。お互いに忙がしい日常ながら、その中の数分を努力で作るその姿勢は貴く読んだ本の印象も強烈に身にしみこむと思つ。

ブラウニーラリー

2団 望月 まさき

程より季節、少し雲り空だつたが、ほんのりと紅葉し始めた舞鶴公園の自由広場にかわいいう白ブラウスに、ワイン色のスカート、帽子の制服姿のブラウニーたちが集まつて来ました。受付で森のマークに名前が書か

れた名札をいただきプログラムにあやつと、これだけでも実行委員の皆様への事前の準備は大変だった事でしょう。本当に感謝致します。

開会式はいつも訓練されている皆さんなのでスムーズに進み今日のテーマ“楽しくラ・ラ・ラ”の意味を理解し各団ごとに挨拶した後、クラフト会場社教センターに直行しました。素敵なループタイはひもを工夫して作るのですが20分程で完成させ、人形の顔の出まぐあいを味わう暇もなく3階から2階に駆け降り、変形ビーズで山梨名産のブドウのブローチを作りました。黄緑色はマスカット、赤紫は甲斐路か甲州という感じにワイヤにビーズを通し、フェルトの緑の葉を付けてねじると出来上がり、“後5分で”とせかされるとどうにか完成させるものです。スカウト弁当(あむすびのみ)をいただき、ワイドゲーム会場に飛び出していった。時間が少ないようでもやるべきことはきちんとしていたようです。

訓練されているということは、時間のなり時にこそ発揮されるように思います。

各国1年〜3年までませても同じ制服を着ているのが皆同化しすぐなじめるようだ。

“食べるが勝ち”は皆必死な顔付であせんべいにかみついていた。“何かな何かな”ゲームはなかなかわからない人、感ですぐわかった人、こんにゃくの手ざわりは、見えないう所でさわるときもちが悪るもののようで、後々まで手先に感触が残っていたようです。

“ロープの森”フォークダンスと楽しいゲームをしながらテーマのラ・ラ・ラが強く打ち出せるようなゲームがほしか、たと思います。又せいかくの支部の行事の時には親の参加を呼びかけ、ガール・スカウト運動の理解をしていただくよい機会だと思ふのですが……。

親子で共に歌ったり、ゲームをしたり出来たら、一層楽しくなるように思います。

集会等で活動した内容が家庭でも繰返し実践されてゆく

には親の理解と協力が最も必要だと感じます。

ブラウニーラリーをふりかえって

プログラム委員長 小野 加代

晴天に恵まれた昨年の10月24日、甲府市の社会教育センターと舞鶴公園広場を会場に初めてブラウニーラリーが行われました。スカウト、リーダー合せて8団、164名が参加しました。“楽しくラ・ラ・ラ”というテーマのもと無事に楽しく盛大に行うことが出来たという事は、支部役員、プログラム委員をはじめ、リーダーの皆様のおかげがあればこそと感謝しています。開会式の後、午前中は社教センターでのクラフトづくり、午後からは舞鶴公園でワイドゲームを行いました。あれもこれもと実行委員会でも考えたために、少し時間が足りなかつたのではと反省しています。

ロープ人形もブドウのブローチもブラウニーさん達には少し高度だったかもしれませんが、みな上手に仕上げ感心しました。午後からのワイドゲームは楽しみながら日頃の集会での活動を生かすような内容がくみこまれていましたが、身近にあるものを案外正確にわかっていたりすることがわかりました。又ロープ結びはくり返しくり返し練習したりとリズムという時に役に立たないこともわかりました。しかしみなゲームの、のみこみも早く、ゲームワークも良く正しく楽しみ予定通りの時間で行なうことが出来たのは、さすが日頃の集会のたまものと思いました。こんなに底辺の広がりブラウニーさん達がこれから協力してジュニア、シニア、レンジャーと進んでいって山梨県のガール・スカウト支部の原動力になつてもらいたいと思います。

昨年10月山梨県サカサカ団の認証があり、翌11月14日、12名の少女よりなる小さな団がここ峡西の地に発団する事が出来ました。峡西ライオンズ、小笠原ロータリー、榑形町長、教育委員会、その他関係各課の職員の方々、依田支部長、今井リーダー、峡西ライオンズの小野様からこの同僚の育泉、齊藤先生方のご指導、ご協力と父母会の皆様の団結と努力とにより、発団する事が出来ました。ほんとうにありがとうございました。

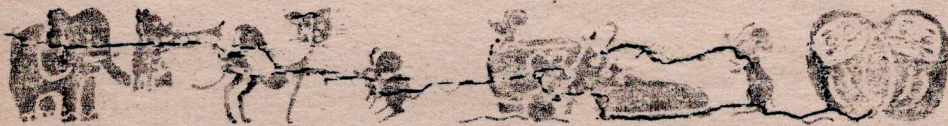
又発団式に当りましては、各団の団委員長、リーダー、スカウトの皆様、お忙しい中を、日曜日にもかかわらず、遠路、朝早くから多数ご参加下さりまして、祝福はげましを頂きほんとうにうれしうございました。

厚くお礼申し上げます。12名のスカウトの中に、ダウン症候群の障害を持った少女が、両親の勇気と少女の前向きな姿勢とにより、ガールスカウト活動に参加し、式にはニコニコして、一生懸命覚えた「やくそく」を唱和したり、歌を皆と一緒に歌ったりして、依田支部長、今井リーダーより握手を受けよろこんでいました。障害児でも、身体的でなく精神的の障害の為、年令を下げてのジュニアへの入団は危ぶまれ、依田支部長、今井リーダーに格別なご盡力をいた頂きようやく認められ健常児と共にスカウト活動をする事が出来ましてよろこんであります。峡西地区にガールスカウトの団を結成する事とその中に障害児も共に参加して活動出来る事が私の夢でありましたので……

発団してまだ日が浅く集会も余り多くはなりののですが心配していた少女達の仲は実にスムーズに交流して身体的にも少レの障害があつて、行動が遅い事もありませんが組の友達がよくカバーしてくれます。集会に休んだ時など「リーダーどうしたの」と皆心配してニコニコした笑顔が見られなりのので一寸淋しい様にも見えま

す。明るく素直な性格でゆっくりですが心強いの
で、リーダーにほめられ他の人々の利處にもなっ
ています。

ようやく発団する事が出来ました。これからの団
の充実、スカウトの育成、リーダー確保、リーダー
自身の向上のための研修と問題が一杯あります。
時には壁に当り戸まどりも沢山ある事と思ひます。
私共リーダーも少女と共に学びスカウト活動に努め
たいと思いますがどうか支部の先輩諸師の皆々様、オ
団が皆様と共に歩み、大まな輪の中に入れて行かれ
ますように、ご指導、ご鞭撻下さいます様お願ひ申
し上げます。



二声輪唱

わたしゃびっくりした

ゆかいにはすんで

小宮路 監 作詞
作曲



(標準語) わたしびっくりした まちのまんなかで わたしびっくりした どしたらよかる
(東北弁) おらはびっくりした まつのまんなかで おらはびっくりした どしたらよかんべ
(九州弁) おどまびっくりした まちのまんなかで おどまびっくりした どけんしんそか



でんしはガッタンゴットン じどうぶアアア わたしびっくりした どしたらよかる
でんしはガッタンゴットン じどうぶアアア おらはびっくりした どしたらよかんべ
でんしはガッタンゴットン じどうぶアアア おどまびっくりした どけんしんそか

低音伴唱



ガッタンゴットンガッタンゴットン アアアアア ガッタンゴットンガッタンゴットン アアアアア



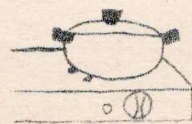
スカウトのページ

料理教室に参加して

4団シニア

岡 美江

11月7日 甲府市北部市民センターで料理教室を行いました。ジュニア、シニア、レンジャーが混ざり、この組編成でした。メニューは「ほうとう」と「あふくろまんじゅう」。あふくろまんじゅうは去年も作ったのですが中には形ばかりよくて、ふかしたらあんこがとび出したものもありました。ほうとうは、キャンプで作ったのでかなりスムーズにできましたが、粉からのし棒でのして作ったほうとうの味はまた格別で、勉強にもなりました。ジュニアが包丁を持つと少し危いような感じがありましたが、シニアになると、キャンプでできたためか、それとも家で手伝いをしているのか包丁さばきも見事(?)でした。ほうとうもあふくろまんじゅうも出来上がり食べる頃には、はじめのうち少しひかえめだったジュニアともすっかり仲良くなりました。ふだんあまり話すことがないので、食べながらも話題がつかまませんでした。料理教室を通じていつも何気なく食べている郷土料理のすばらしさをつくづく感じました。また機会があったら何度も作ってみようと思っております。とても楽しかったです。次回の料理教室は、お寿司の予定です。



10月24日のブラウニーラリーにさんかして

塩山市 12団 中村 備子

ブラウニーラリーは1団から12団まであつまりましたがこなかった団もありました。

開会式のあと、社会きょういくセンターに行きました。そこでは、ブースをつかってぶどうを作ったり、また、マスコット人形も作りました。

自分では、思ったより上手に出れました。

ワイドゲームでは、グループに分かれて、いろいろなゲームをやりました。その中でも、わたしは一番大かいてんりレーがよかったです。一しょうけんめい走りまわりましたが一番さいごになってしまい、とてもざんねんでした。でも、とても楽しかったです。

24日のように、ほかの団の人たちと顔を合せて、楽しくゲームをしたり、歌ったり、することをこれからもやりたいと思います。

わたしはことしガールスカウトに入団したばかりですが、これから、いろいろなことを教えてもらい、がんばりたいと思います。

▽プレスレット
ト、太さ2cm

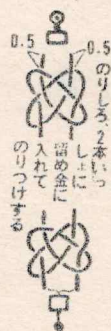
の金ひも75cmを2本使い、四つ
の結びを1回つけて結ぶ。

2cmと前とで、しっかりとピン
セットでしめ、形を整えながら
結び、両端にプレスレット用の
留め金をつける。全体の長さは
18cmくらい。

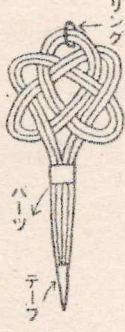
▽ペンダント 太さ2cmの

金ひも55cm一本、黒ひも55cmを
一本、真鍮1寸のリング一個、
真鍮1寸のパーツを一個、黒ひ
もを真ん中にして二本を併せて四
つ結びを1回結ぶ。一本ずつ
しめ、二本のひもが並らなくなる
ように整える。

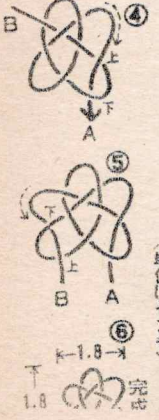
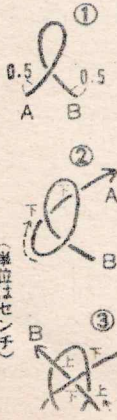
プレスレット



ペンダント



四つ菱結び



2.結んだら端にセロハンテー
プを巻き、パーツに通して、セ
ロハンテープを除き、半分とし
て6cm残して切る。別の部分を
ほぐして、高気圧で切りそろ
える。上部にリングをはめ、手持
ちのネットケースに通して使用す
る。プローチにしてもよい。

▽ヘアバンド ①太さ2cmの
金ひも40cm一本、太さ2cmの
黒ひも40cm一本を使う。金と
黒ひもの二本を併せて四つ結び
を15回結ぶ。

②ひも分として両端に黒ひも
各一本20cm残して結び、結び始
めを安全ピンで固定しておくこ
結びやすい。ひもの先を5cmく
らいほぐして、仕立てていくこ
仕上げる。

東京15団と交歓会をして 13団6年 山田 容子

10月16日、17日に東京15団との交流会をしました。

15団は東京にいる外国人の国際団です。私はボランティアセンターで15団の人たちを待っている間どんな子が来るのかなあと、うきうきしてみんなとざわいざわいでいたのでリーダーにしかられました。だれかが「きたよ、きたよ、いろんな子がいるよ」といって15団の人たちが部屋に入ってきました。金ぽつの子、黒人の子、日本人ぽり子とほんとにいろんな子がいました。

みんなで15団の人たちに私たちがつくった手づくりのぶどうのブローチをあげたり、歌をうた、たりしました。それからクラブで15団のリーダーから雨の時にかぶるビニールのボンネットの作り方を教えてもらいました。それに15団の人たちに、サインをしてもらいました。そのころからみんなだんだんしゃべるようになりました。私はみんな日本語があんまりわからないうと思ったけどずいぶん上手にしゃべっていました。

リーダーが15団の子がとまる家をくじできめるというのでとても不安になってドキドキしました。その結果うちにはかん国で4年生のスンミンという女の子がとまることになりました。

家に帰っていっしょにごはんを食べました。スンミンはスパゲッティ、2ほりとごはん、ハンバーグ、サラダ……などすごい食よくでした。私はポカーンと見ていました。それから木田さんが来て3人でアラレちゃんゲームをしました。ゲームのルールでじゃんけんをして勝った時のほうがとくをする時、スンミンはすごい元気にじゃんけんをし、負けた方が得をする時はすごいくよわくよわしくじゃんけんをしたり、時々ずるをしたり、ピロリンキャンディーをとる時も私にすごいいきあいでとびかか、てきたりしました。まったくスンミンはおもしろくてユニークでした。

つぎの日、石和に行つてぶどうがりをしました。
 ぶどうがいっぱひ。これをたくさんみんなでとるの
 かなあーと思つてうきうきしてたのに、私たちが団
 はたつた！ぶさだけ、15団の人たちはぶさ、私た
 ちはぐちをいりながらとつても大きなぶどうをさが
 して回りました。昼食の時15団の方で作つたシナモ
 ントーストと3団のお母さんたちが用意したケンタ
 キーフライドチキンなどが出ました。朝早くから来
 たのでみんな食よくがなくてあまりたべませんでした。
 そしてみんなで写真をとつたりして遊んだりし
 ました。とうとう帰るといふので石和駅へ向いました。
 電車の中には15団の人たちが入つてゐる時、私達
 数人は、どうせ電車は進むから先の方にいたほうが
 とくだからといふことで少し先の方にいって手をふ
 りました。

2日間とてもいり憩り出になりました。
 とても楽しかったです。



独唱または斉唱

小さい花

岡田陽作詞
 柳井昭作曲

やさしくながかく

mp

1.2 ちさいはなはこべのはな おかあ

さんのはな | きよら | そつとさいて

mp

いづもはやくみてるはな | ちさいはな

1.2 ちさいはな | おかあさんのはな

常任委員会のページ

指導者養成委員会

- リーダー養成講習会の開催について
3月18・19・20の3日間、甲府青年の家において、養成講習会が開催されます。希望者は各団、団委員長又は指導者養成委員会に申し出て下さい。
リーダー不足の折り多教の方々の受講を希望しております。

プログラム委員会

- バッテ、エイトの申請について
ジュニア、シニア、レンジャーの皆さんバッテ及びエイトの申請者が近すいております。
集会のまとめをしっかりと行ない、たくさんのバッテエイトを取得して下さい。リーダーの皆さんも申請日までに御指導をよろしくおねがいします。
申請日は3月ですが詳しくは後日お知らせします。
又申請日は57年度プログラム実施報告書（B5判）各パート1部と58年度プログラム実施計画書（B5判）各パート20部をも提出して下さい。

財務委員会

- 57年度支部バザーのお知らせ
支部の財源と団の財源を少しでもうるおすために、3月27日(日) 甲府市商工会ホールにて支部バザーを実施いたします。各団の趣向をこらした販売店、模擬店等多教出店いたしますので協力をおねがい致します。
遊休品等の御寄附のお願いもいたしますので遊休品

等今から準備しておいていただければ幸いです。

広報委員会

○支部便りNo4は集会活動をのせたりと思います。
より写真がありましたら広報委員会までお願い致します。

尚、原稿等もどしどしお寄せ下さい。

皆さんに紹介したいクラフト、ソング、ゲーム等
もありましたらお知らせ下さい。少しずつ紹介し
たいと思います。

日連需品部より

○〔世界連盟協力需品〕収荷しました。

- ・サンキューキー 100円
- ・ミニチュアピン 300円
- ・しおり(合成皮) 170円
- 入荷のおしらせ
 - ・インターナショナルハンドブック 200円
(国際交流の手引)
 - ・成人C型スーツ、ブレザー用ボタン
 - 大 60円
 - 小 40円

○需品申込みに際してのお願い

1月から8月まで、日本連盟の需品の発送は
たいへん混雑します。お申込みの際は、品物が
到着するまでに最低1カ月の余裕をもって書面
でお申込みください。住所、団名、氏名、電話
番号を必ず明記してください。

ニュース

- (その1) 郡内地区では3、6、10団合同の集会を開催しま
した。スカウト数が少なく集会が思うように
出来ず現状での打開策の一つとして計画し
ました。まだ試みの段階ですがマンネリも打
破できたのしい集会になりそうです。会場持
ち回り今回はシンキングデーをテーマに国際
理解ということと英語のソングをうたったり
国際理解のための話し合いをしました。
- (その2) 9団ではクリスマス会を1泊2日で行いました。
昨年に続き清里でのクリスマス会、とても楽
しい思い出に残るクリスマスになったそうで
す。

支部便り

社団法人 ガールスカウト日本連盟

山 梨 県 支 部



シンキングデー（お国自慢・スペイン）〔1983・2・20 甲府市社会教育センター〕

スカウトと共に

支部長 依田喜栄

今年度が、終わろうとしている今、一年を振り返り、プログラムを思い出しています。まず、支部キャンプのことがいろいろ思い出されます。それは富士山麓の山中のキャンプ場で外界とは遮断された大自然の森の中の三泊四日のキャンプでした。そこには支部の力が結集された素晴らしいものでした。参加した誰もが、いろいろな思い出を胸に残したことと思います。それは友情であり感謝であり自分自身への自信であったかもしれませぬ。偉大で美しくやさしい自然の中での生活は忘れることの出来ないものでした。その他のプログラムとしてはブラウニーラリー・ジュニア組長訓練、ギャザリング・シンキング・デー折々の奉仕活動等がありました。ここで教えられたこと、経験したことはきっと少女達の成長に役立っていることと思います。私達の歴史を受継ぎ、明日をきづくこの少女達が心ゆたかに心身ともにたくましく育つことは私達の願いであり責任であると思います。少女達と共に努力してゆきたいと思いません。今年も何人かのスカウトが、社会人として巣立ってゆきます。十年それ以上もスカウト活動を続けられたことは立派な事だと思います。スカウト精神を生かした社会に役立つ人になって下さい。新しい年度にはスカウトの輪がもっとひろがるよう努力したいと思います。



支部キャンプ

ブラウニーラリーで

13団 飯田 誠子

10月24日に開かれた第1回山梨支部ブラウニーラリーに出席して感じたこと。

最初の「つながわり、できるかな?」は、簡単そうに見えるが、これが仲々。1人ひとりの性格のようなものが現れて大変興味深かった。足先でさぐりさぐり慎重にやっているのにその割にはロープからはずれてだんだんとんでもない方へ行ってしまう子、大胆にさっさと歩いてしまうスカウト、おっかなびっくり殆んど前へ進めない子などいろいろである。

「何かな?何かな?」はダンボール箱の中に、じゃが芋、きゅうり、レモン、こんにゃく、インスタントラーメンを入れておき、それを手が1本入るだけの穴から手探りで当てるゲーム。我々大人から考えてみればごく簡単と思われるのに、殆どのスカウトが、いつまでも箱の中に手を突っ込んでいるだけでちっとも動かないのである。箱の中で手をむやみに動かすだけでじっくり1つずつ確かめることをしないのか、それとも今の子供はお手伝いをしないので、さわっただけでは何が何やらわからないのか、現代っ子の悪い1面を見せられた気がした。

「ロープの森」本結びは最も基本的なロープ結びで、ブラウニーといえどもスカウトなら誰でもできなければならない筈のものであるのにスムーズにできるスカウトは大変少なかった。日頃の集会での反復練習がいかに大切であるかをリーダー達が思い知らされた場面であった。

午前中にクラフト2つ、午後は外でワイドゲーム、最後にフォークダンスと盛りだくさんのプログラムにも拘らず時間的にも大体予定通り進行し、ブラウニー達も他団のスカウトと交流しながら楽しみ、第一回のラリーとしては先ず成功ではなかったろうか。

実行委員やリーダーの方達が苦労しながら心をこめて

・支部キャンプ

7月27日から30日の3泊4日「チャレンジ」をテーマに第2回支部キャンプが行なわれた。ジュニアからレンジャーまで226名の参加スカウトは、緑深いボーイスカウト山中野営場で、自然の偉大さ、神秘さにふれ共に友情を深めました。

また楽しかったワイドゲーム、キャンプファイヤーを囲んだ何重もの円陣、いつまでも心に残ることでしょう。



社会教育センター・舞鶴公園

作って下さったかわいい参加賞を見る度に、ブラウニー達は次のラリーをきっと待っているであろう。

57年度 新ジュニア組長

訓練をふりかえって

プログラム委員長 小野 加代子

お正月気分もまだ抜けぬ1月29日・30日、新ジュニア組長訓練が愛宕山少年自然の家で行われました。

参加者はスカウト49名、団引卒リーダー8名、スタッフ9名でした。第1日目がスカウト活動についての話と



パトロールシステムの実習、2日目が歌、ゲーム、規律訓練を行いました。

1日目は話を聞くのがとても下手で2日目はなわ結びにしても、規律訓練にしても基礎的なものが出来ていな

いことを痛感しました。

スカウトは私達リーダーを映す鏡だと思いますので、私達リーダーは基礎をしっかりと身につけ、リードしていかなければと思います。

「シンキングデーを終えて」

国際委員長 小野 洋 恵

毎年、シンキングデーの日はどんよりした寒い日が多いですが、ぬけるような青空でさわやかなシンキングデーを迎えられました。

さて、シンキングデーは楽しかったですか？

国際委員会では、年に一度の大切な日を、スカウト活動の喜びの日となるよう、お互いが思い合う日となるようそして世界的なことを考える日であるようにプログラムを検討してきました。スカウトの「友情」を読みながらスカウトであることに喜びを感じたスカウトも大勢いるでしょう。そしてお互いのことを愛と友情のこころを持って考えたことでしょう。

お国じまんのコーナーでは、各団すばらしい民族衣装を作ってくれました。1枚のふろしきが、新聞紙があんなにもステキなドレスになったり、考えつかなかった方法やアイデアが次から次へと出てくるのに驚くばかり。

支 部 バ ザ ー

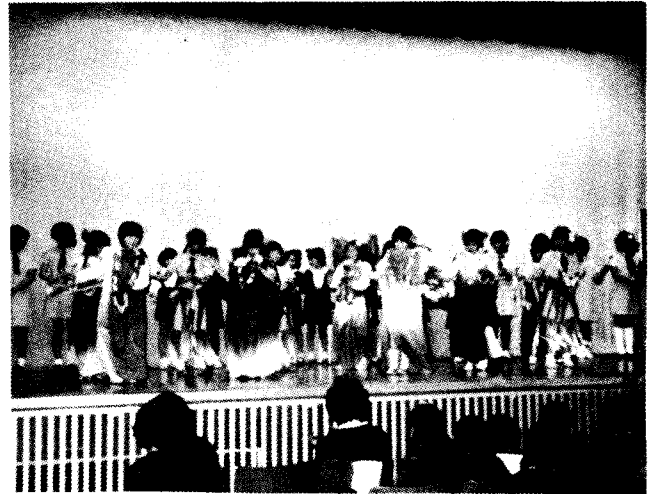
財 務 委 員 会

3月27日、第3回支部バザーが開催されました。

あいにくの雨にもめげず各団くふうをこらしたバザー用品が並び、さすがガールスカウトと感嘆しました。

開店の頃には雨もやみ、多数のお客様で大盛況でした。今年は手作り品もアイデアいっぱい、即売品も格安で花、カサ、つくだ煮、煮豆、せんべい、etcとバラエティーに富んだ良い物がたくさんあり、とてもたのしいバザーでした。

本年度のバザー売り上げは、279,200円でした。本当にご苦労さまでした。



みんなの豊かな想像力とアイディアには脱帽デス……。今年は与えられたものでなく、みんなでいっしょに作りあげて、いっしょに楽しむことができたことをとてもうれしく思います。

みんなから集められたシンキングファンド32,811円は最も必要とされるところで有意義に使われます。

最後にシンキングデーは年に一度ですが気持ちは毎日がシンキングデーでほしいと願います。



団 活 動 こ の 一 年



1 団

愛宕山少年自然の家にてブラウニー舎営キャンプを行いました。

甲府市を一望しながら、ワイドゲームに汗を流しました。

難しい課題に頭をひねったり、リーダーの質問がたのしくて笑ったり、お料理を作ったり、たのしいキャンプでした。



2 団

クリスマス会、各組の出し物です。どの組も一生懸命、アイデアいっぱいたのしい出しものが続出、すばらしいクリスマス会でした。

写真はジュニアスカウトの演奏です。

3 団

集合：毎月第一日曜日

みはらし帝前 6：30AM

持ち物：ほうき、ちりとり、軍手、ビニール袋、紙とり
バサミ

浜の売店もまだひっそりと戸を締めている頃、ねむたい目をこすりこすり、今日はやけに寒いなあと思いつつ、集合場所に急ぎます。時には湖上に朝もやがかかり、富士山も顔を出していません。

そのうちに、早起きの観光客が、散歩におりてくる頃、私たちのそうじは終わります。



4 団

わたしたちの団ではお料理教室をしました。

山梨の郷土料理を学ぼうと、ジュニア、シニア、レンジャーが合同で「ほうとう」と「おふくろまんじゅう」を習いました。

中からあんこが飛び出して来てしまったおふくろまんじゅうもありましたがとてもおいしく出来ました。

ほうとうは、小麦粉から作るやり方を教わりとても為になりました。

5 団

私達は11月14日櫛形町に山梨第5団として発団しました。まだうぶ声を上げたばかりの赤ちゃん団ですが、早く他団のスカウトに負けない、りっぱなスカウトになるよう毎週の集会、張り切ってやっています。

どうぞよろしく!!

6 団

12月18日クリスマス会が行なわれた。キャンドルサービスのあと、ブラウニーから人形劇、ジュニアから創作劇、シニアからザ・チナミショウなど楽しい出し物が発表されました。

グランドマルケイの社長さんのご好意ですばらしいクリスマスパーティーができたことを心から感謝しています。

10 団

お作法の学習として、お茶のいただき方、歩き方、あいさつの仕方等を学びました。

足がしびれて立てなくなったり、緊張して手がふるえたり、たいへんでしたが静かにすわり、お茶をいただくことは大変気持ちの良いことだと、大好評でした。

はじめてのお茶会

ブラウニー 矢野久子

2月5日の集会にYLO会館で、お茶会が、ありました。

はじめに、リーダーから「かいし」とゆうものを、もらいました。はじめは、なんだろうと、思っていたけれど、わたなべともちゃんのお母さんに、いろいろなことを、教えてもらって分かりました。

ともちゃんの、お母さんは、きものを、着ていたので、かいしを、むねのところに、入れていました。

それから、おじぎのしかたや、おかし、お茶のいただき方などたくさん教えてもらいました。

おじぎの時や、お茶をいただく時、どきどきして、

手も、ふるえていました。

おかしも、お茶も、もらって、お茶を、のむばんです。なんだか、まずそうな色を、しています。

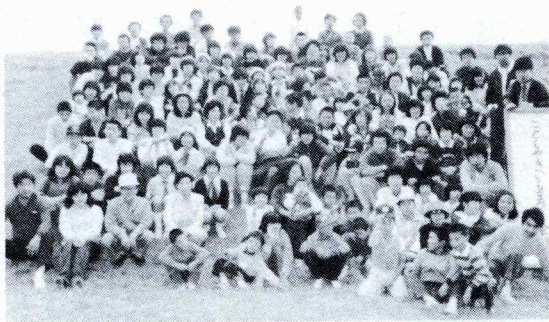
ちawanを、手の上に、のせてかたの手で「くるっくるっ」と回してから、のみました。

でも、あまいおかしをたべていたので、あまりにがくかんじませんでした。

家に帰ってから、かいしのこと、お茶のもらい方、のみかたを、妹やお母さんに、教えてあげました。

後で足がとても、いたかったです。





11団

「やきいも大会」10月24日

山梨市では、年に一度やきいも大会が行われます。これは、緑を育てる会、ユネスコ協会等が主催しているもので、ガールスカウトもそのお手伝いをしています。山梨立正光生園等の施設の子供達を招待し、山梨市の万力林でいっしょにゲームやオリエンテーリングを楽しんだ後、みんなでおいもを焼いてお腹いっぱい食べます。



12団

クリスマス会、シニアスカウトの讃美歌です。美しいハーモニーが聞こえてきませんか。12団では、12月第一日曜日を毎年クリスマス会の日と決めています。



13団

東京15団（国際団）と10月16・17日の両日交流会を行いました。歌とゲームの交歓、スカウト家にホームステイしたりぶどう狩をしたり、とても楽しい交流会でした。東京在住の外国スカウトの団なので、又一段と内容の深い思い出に残る交流会でした。

お 知 ら せ

東京都支部主催、ガールスカウトクリスマスファミリーデーが開催されます。参加しませんか。スカウトでなくてもけっこうです。お友達、御家族みなさんでどうぞ。

要項

日 58年12月18日(日) PM12:00~18:00
場 所 東京ディズニーランド
費 用 2,400円(入園券のみ)
人 数 5,000名
申し込め切り 5月25日
その他 入園券が格安です。
参加希望者は各団にお問合せ下さい。

編 集 後 記

支部便りNo.4が皆様のお手元に届く頃には58年度の入団式も終わり、希望に胸をはずませて集会活動に励んでいることと思います。

No.4は一年の活動を振り返って見ました。忙しい、忙しいと言いつつも、多くの意義ある活動に取り組んだ様子がはっきりわかります。生涯教育、人間一生学ぶ姿勢を失いたくないものです。

ガール・スカウト活動こそ一生たのしく、又有意義に学んでゆける場であると確信しています。

58年度も57年度の基盤に立って充実した集会活動を展開してゆきたいものです。

広 報 委 員 会

支部役員

昭和58年度
No. 1

社団法人 ガールスカウト日本連盟
山梨県支部

№1
S58.7.31



B-Pのことば

ほほえみはどんな困難にも打ち勝つ勇気を与える。どんな困難にも、苦しみにも、危険にもほほえみをもって持てることのできる人は自分自身に自信を持てるばかりでなく、周囲のだれにも、自信をもたせる。

常任委員会のページ

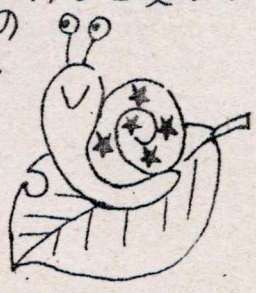
支部長 依田喜栄

新年度にはどの団でもスカウト活動が初めてという少女が、何人か入団したと思います。私は団でジュニア部門をお手伝いしていています。新しい少女が何人、私の団にも入団してきました。組章作りを始め、結び、道しるべなど前からのスカウトと一緒に楽しい集会を持ちました。新しい少女達にはスカウト活動は、魅力のある楽しい経験だったと思います。この不安定な要素の多すぎる今の時代には、しっかりした教育の目的を持っていくこのスカウト活動が必要なることを、痛感します。今年度のめざすものとして、皆様のご協力をいただき、新しい団を作り、少女達の中にこの運動の広がってゆくことを切望いたします。

雨の庭先で

副支部長 鷹野 夕子

梅雨の季節になり、木々の緑もひとときわ鮮かさを感じさせる庭先で、車を重そうにつけた木の葉にふと目をやると、一匹のカツムリが、雨に向って登っていきの目が目に入りました。カツムリは、上から落ちてくる車に向い、これでもか、これでもか、と角をふり立て登っていきま。私達は雨が降ると憂うつになっ、てしまいが、カツムリはそんな私達の気持とはうらはらに元気がよく雨に向っていきま。雨にも負けず、風にも負けず「ではありませんが、そんなカツムリの姿にしばらく見入ってしまいました。普段はあまり人の目につかなくなり、カツムリの雨に向っていき、小さくても、たくましさでいっぱい。私達も一人一人は小さな存在ですが、大きな目的に向って苦難にも負けず、カツムリのように一步一步前進していきたいと感じました。



日連会計理事に選ばれて

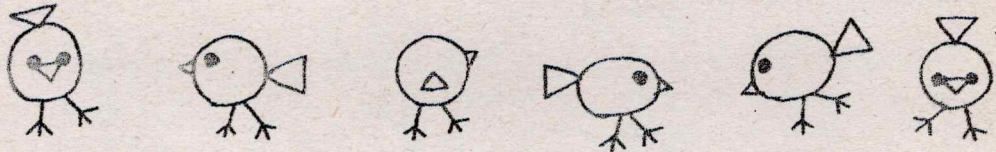
組織委員長 今井 湯子

先般同様に昭和58年度～59年度、日本連盟会計理事に選任され、大変な責任を感じております。戦後再スタートしたわが日本連盟の年間会計は15万円の弱で当分終始されて居りましたのを思い出す時、まさに今日は雲泥の差、それだけに強い緊張を覚えます。

指導者養成委員会

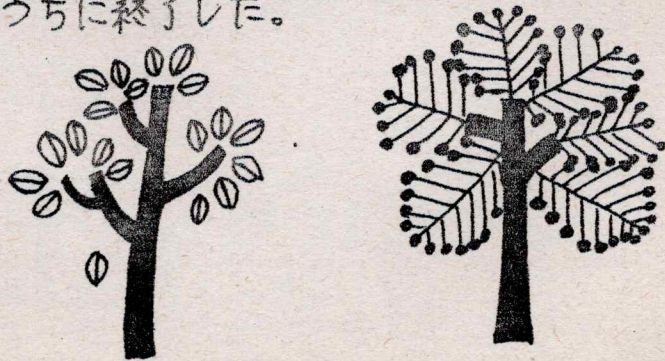
私たちが、指導者養成委員会はことし大きな事業をもっていきます。創立年のリーダー研修会、2回リーダー養成講習会、2回のほか、南関東地区指導者研究協議会を実施します。10月8日から10日までの3日間、清里の「ハケ岳少年自然の家」で1都3県から100名が集まり、単元「集合の運営」について研修します。単元「集合の運営」に「理解する」の意を込めて研修が実施されます。ようご協力をお願いいたします。明日をう少女のために、一人でも多くの指導者の養成、リーダー各々の活動内容の充実をめざして取り組んでいきます。

日程は 9月9日～10日 リーダー養成講習会
 (富士吉田市)
 10月8日～10日 南関東地区指導者研究協議会
 (高根町清里ハケ岳少年自然の家)



リーダー研修会を実施して

7月3日、愛宕山少年自然の家において、リーダー研修会を実施。約30名が出席し、樹木見本園で、県林務部の有藤敬文先生の説明を聞く。その後、野外料理(ラップにぎり、トマトウオーキングサラダ、肉と野菜の重ね煮)、キャンプの歌、バッジ、エイドの取得方法について行う。野外料理の御飯は非常食用のビニール袋でたく。あやつもカローリーの高いビスケットと牛乳。朝のうち雨がのこっていたが昼頃ほかなりの暑さ。勉強になった。料理がおいしくできた。楽しかった。樹木見本園へはまた行きたりなどみな積極的に取り組んでいた。組も名もユリノキ、ジュウニヒトエ、ネムノ木など観察した植物の名がくぐとリりれられ、和気あいにのうちに終了した。

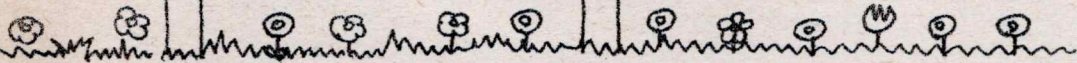


サンガム・セッションに参加して

山田幸子

「シンキング・デーをサンガムで」というプログラムに日本から依田リーダーと私とほかに2名、計4名が出席しました。これは各国の連盟から役員の方々が集まり、「ガール・スカウト」の価値とほかに「将来我々は何をなすべきか」などディンクの価値とほかに「有意義な話し合ひ、各団や連盟の紹介、シンキング・デーをお祝いする」というものもたくさんあり、内容で、日本を紹介は料理(赤飯、わかめスープ、天ぷら)など茶道、さくらさくらの歌と踊り、スカウティングのスライドなどを着、よリ行なりませ。ほかにインドのタバコではサリーを、ヒンズー料理を右手だけを、て食べてみました。それ、それの想いや、希望をハートの紙に書いてつるしたアーモンドの幼木のまわりかみな去リ難く、話をしたり、ハトをみたりに立すんでいました。ガール・スカウティングが世界共通のものであり、どこの国にとっても明日をになう少女にとって大変大切なものだ、と認識したセッションでした。サンガムの玄関で見送ってくれた年長のコミッショナーの方々、感激が大きいければ大きいほど、彼女たちと離れ難く、プーナ歌へど急ぐりクシャ(三輪車)の中で、あふれるおもりで口をあけることまで、感謝いたします。本当に楽しい毎日が送れたことを多くの方々に感謝いたします。

25周年おめでとう!

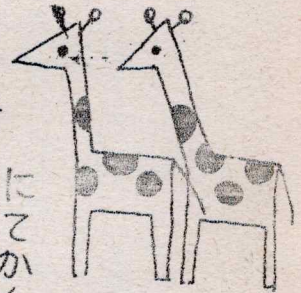


25周年を経て オ1団 今井 温子

6月12日、私共山梨県オ1団発田25年を祝う式典を催し、県下姉妹団の皆様にも多大な御厚意を頂きました。この上なく嬉しく、深くお礼申し上げます。戦後の社会秩序が、まだまだ整わたり昭和34年に一人でも多くの少女が、幸らひをねがってオ1団がスカウト20名、リーダー3名、団員名によって当時百石町にあった甲府YMCAで発団式を行ひ、現在までに次々と15団が有志の御理解により結成されて参り、ました。零から出た千半世紀の跡を顧み、感懐はひ下と、しおござります。スカウト活動のよき伝統を、守り、果たし、更に多くの団が、出、少女各自が身を以てガール・スカウトの活動の喜びを知り得たら、どのよう嬉しりことか、又その任の一端を担う一人であることを痛切に思ひます。

がールススカウトの為に時間をつくろうとはしてないように、
 思います。その結果、バッジなどもリーダーにやんやんりわれ
 やつとす。と云うよ様に思ひます。数十年の間に、こうも子供
 達の生活が多様化して来た為でしようか。そしてシニアになる
 多くみられるようになり、たがゆき者もあるのは非常に残念で
 と集いこです。スカウト運動はベーデン・ポウエル卿ご夫妻の理念のもとに世界
 スカウト運動はベーデン・ポウエル卿ご夫妻の理念のもとに世界
 中の少年少女達の明日に向って進む気持が心に目覚め、仕向け
 てゆくことであり、この運動の理解と信頼は何年もかかって、
 序々に身につけてゆくものと思ひます。週に一度、地域や学校
 や少年の逢った少女達が一つの所に集う喜びを味わって、同じ
 やくそくをおこがましくとも育んでゆけらと思ひます。

1 田 今井 温子



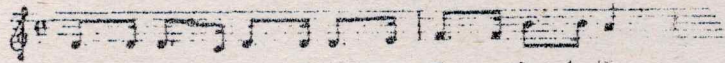
58年度が始まり早や一日 各国それぞれに
 初ノロムごの果会が、思欲的に行われて
 りる事でしょう。1田は、開会の後、わずか
 の教分に、時により新聞タイム、国際タイム
 等々、その日の朝に識。た身近のニュースを发表する時間を作
 りました。リーダーから、又スカウトからと鞆を拵り、あ互
 に時の流れに安心を待ちたり意圖からです。
 次にこの一年向とやさし心、レっかりした考え、はきはきし
 た態度、更にほへみを持つ努力も少し大きな希望ながら、
 各自持ちましようとしてリーダー、スカウト共々励みたりと思ひま
 す。

3. おやまの さかみち ななまがり
 サラサラ おがわが あったとき あったとき

親子のきつね

作詞・作 4. かあさん けうやを おんぶして

ポチ+ポチ+ おがわを こえたとき こえたとき

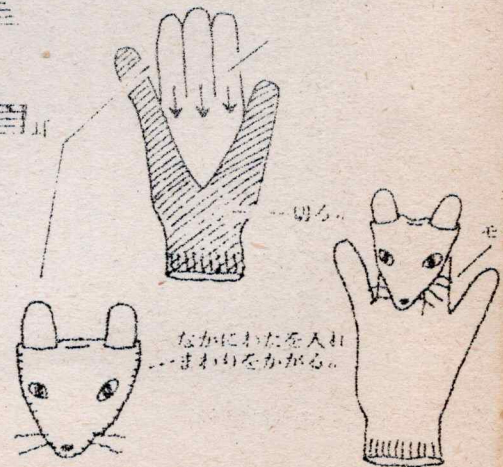


た - か い お や ま の て っ べ ん に



お や こ の き つ ね が お っ た と き - お っ た と き

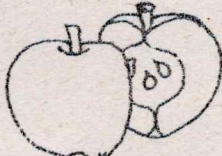
1. たかい おやまの てっべんに
おやこのきつねがおったとき おったとき
2. おやこのきつねは つねがって
トコトコ さんげに いったとき いったとき



スカウトのページ^{II}

13回 模 かある

東京15回との交流会に参加して、とても楽しかった。私が泊
ったミキちゃんの家は西武新宿から4つかちつ目の駅である
沼袋といつ所にあつた。沼袋から西武新宿まで10分ぐらいで
行けるので、初日の夜はさつそく西武新宿の近くのレストラ
ンで夕食をごちそうになつた。夜はのど変りなほど
の人が、こんざつしてとてもにぎやかだつた。
ミキちゃんはお母さんで日本語がとて上手なの緊張はしな
かつた。お母さんは日本人だが、ミキちゃんとは英語で話す
し、英語いやくの先生もや、ていりるから日本語が英語なま
りしてつた。英語で暗記ゲームをしつたが、普段の発音は
（口減にしてつたので、いざとなつた「りんご」とも取
本語的な発音の「アップル」になつてしまつた。
かつた。発音練習の大事さが身にしみつた。
翌日はミキちゃんの家を原宿を案内して、お母さん
に新宿のデパートや原宿を案内して、お母さん
ら、小物の店やブティックを歩き回つた。
た。明治神宮にもあつた。
この2日間はとても楽しいことがあつた。
良い思い出になつた。また機会をつくつてほしいと思ひます。



ガールスカウトに入つて 12回 シニア 宮下奈津子

私は、ガールスカウトに入り、期待と不安の二重の気持ちで
一歩を進め始めました。一番始めは、何をしつていいのかわ
分からずつたので、リーダーや先輩達にまねをして来まし
た。約束やあきても紙を見たりしてはスラスラ言えませ
私はなんだか自分がすくはすかしく思ひました。ガール
スカウトに入つたかぎりには、こんなだらしない事では
なんだと思ひながら、今までやって来ました。
あきてにもあるように、ガールスカウトのつとめは、人を助
け人に役立つ事でありつます。私は、これを大きな目標にして
これからがんばつて行きたいと思ひます。

* シニア新入団したスカウトです。これからの宮下さんの活動に期待したいと思ひます。がんばつて下さい。

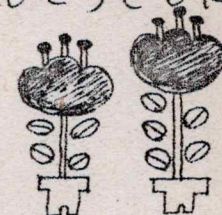
私の体験より「ボランティア」について

6回 シニア 渡辺 香織

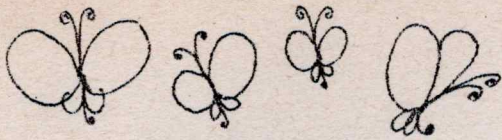
「ボランティア」といふ言葉の意味は、他にありはな
「ボランティア」といふ言葉の意味は、他にありはな
「ボランティア」といふ言葉の意味は、他にありはな

「ボランティア」といふ言葉の意味は、他にありはな
「ボランティア」といふ言葉の意味は、他にありはな
「ボランティア」といふ言葉の意味は、他にありはな

「ボランティア」といふ言葉の意味は、他にありはな
「ボランティア」といふ言葉の意味は、他にありはな
「ボランティア」といふ言葉の意味は、他にありはな



「ボランティア」といふ言葉の意味は、他にありはな
「ボランティア」といふ言葉の意味は、他にありはな
「ボランティア」といふ言葉の意味は、他にありはな



9回 ブラウニー

じゅんどう がある

しんせきのおねえちゃんが、ガールスカウトにはいっていろいろのほなしをしてくれたので、とてもたのしいところだなぁとおもっていました。だからわたしは、ほいることにしました。

ブラウニーのうたをおねえてもらったり、ゲームをしたりするので、とてもたのしいです。やくそくもおほえました。にゆうだんしきのときは、ちよっとあがっちゃったけど、ブラウニーになれて、とてもうれしかったです。だからずっとやまなりようにしたいとおもいます。7がつにあるキャンプが、いまからとてもたのしみです。

ハンドクラフト

皮のタッグ

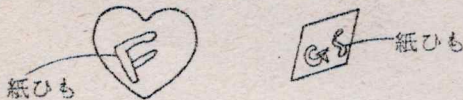
材 料 厚手の皮、ひつじの皮、紙ひも、皮用ボンド、ひもまたは金具

準備物 はさみ、ボロ布

作り方 ① 厚手の皮を好きな形に切る。



- ② ボロ布を湿らせて、軽くたたくようにして、①の皮に湿り気を与える。
- ③ 紙ひもを自由に形付け、皮用ボンドで②の上にはりつける。



- ④ ひつじの皮を①より3mmくらい大きめにカットして、③の上からはりつける。



- ⑤ はみ出しているひつじの皮はきれいに切る。
- ⑥ ひもまたは金具を通せるように穴をあけ、ボロ布で磨いて艶をだすとできあがり。



支 部 便 り

S58. 12. 30

社団法人 ガールスカウト日本連盟
山 梨 県 支 部



シニア・レンジャーの集い

12月26日 甲府南公民館

愛の火花はだれの心の中にもある。もしこの愛を使わなければ、この愛は

無駄になり、やがて消えてしまう。しかし、この愛は、使えば日ごとにいっ

そう大きく生きたものとなる。

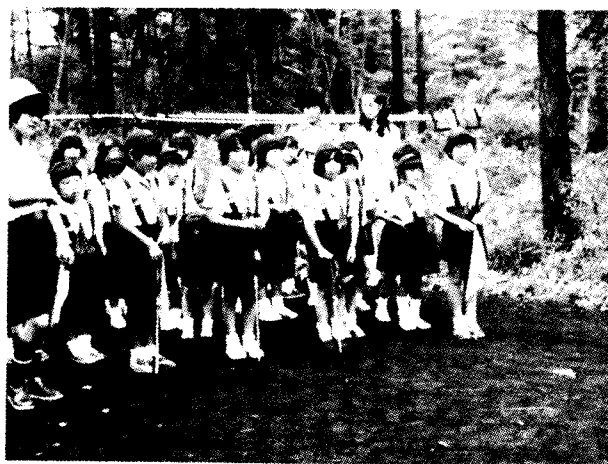
—BPのことばより—

ブラウニーの舎営にあたり

トレーナー 今井温子

ブラウニーの年間プログラムに於て、彼女たちの最大のたのしみは夏の自然の中、友との2泊3日の舎営に終始すると思われまふ。彼女たちのこの想いに答える為に、私たちリーダーは、計画、実施地の下見は勿論のこと非常に備えての配慮に至るまで十分に行いたいと思います。うれしい事、たのしい事、おどろく事など一杯のこの舎営プログラムは、年令に副ったものでなければ成功とは云われなないでしょう。毎週の集会で規律訓練も笛の合図、歌も大いに取り入れ、本番の舎営ではそれが、のびのび活用出来たならばどんなにすばらしい事でしょう。道しるべもその場所にもっともふさわしいもの、少女の空想も又、創造力をかきたてるものにしましょう。そしてその活力源の為にも、充分なカロリーのある食事を、おひるねの休養も是非取りたいもの。更に彼女たちより遅く着くはずの家へのお便りも必ず書きましょう。私の手紙はまだかしらと、わくわくしながら我が家で手紙を待つ一つの動作も、この舎営の余韻として捨てがたく、又、他出した時、便りをしたゝめる習慣にもしたいものです。ブラウニーの年代は集団行動が重ですが、成人の充分な人数によって、個々の少女に眼が届くように、又キャンパスライセンスを持つリーダーも1人は加わるよう、前もって考えましよう。

夜明けの鳥の声に、木もれびの光り模様、夕べの霧の流れ、夜のしづま天体の動きに多くの美を感じる少女が1人でも多く育ちますように、私たちリーダーも何事にも探求心をさかんにし、はずみある日々を心がけたいものです。



ギャザリング報告

プログラム委員長 小野加代

8月13日～14日、熱海市に於て、1983年ガールスカウトギャザリング、第二会場の部が、新潟、栃木、茨城、千葉、長野、埼玉、東京、神奈川、山梨、静岡のスカウト220名が参加して開かれました。本県からは、シニアスカウト7人、レンジャースカウト2人が参加しました。「やくそく」で結ばれた少女たち—私とガールスカウティング—というテーマのもとに、スカウト達が自主的に参加するというを目的に、山梨支部のスカウト達は熱海までの往復の時間、切符等を自分達で手配し、現地集合、解散で参加しました。13日には、開会式の後、作家の西村滋氏の基調講演「うめぼしと牛肉」という題で行われました

西村氏は孤児になられたため、小学校に4年生までしか行かなかったにもかかわらず、努力して作家になられた方で、テレビドラマにもなった「お菓子放浪記」をおかきになった方です。「うめぼしと牛肉」という主題は西村氏の生きてこられた人生のテーマでありました。少年時代継母に育てられ、お弁当のおかずはいつもうめぼし一つしか入ってなかったそうですが、ある日、いつもうめぼし弁当をからかわれるお隣の席の少女に、うめぼしをくずしてごはんの上一面にぬりつけて、牛肉のソボロ弁当だといって、すっぱいうめぼしを、おいしそうに食べたのだそうです。西村氏はみなし児としての自分がうめぼしだとするといつもそれを牛肉に変えようとしてがんばってこられたそうです。孤児院時代、とてもつらい思いをしていた時、孤児院の外からきこえてきたハーモニカの演奏が、とてもなぐさめになり、自分もいつか他人の役に立つ人になりたいと、自分に約束したそうです。「他人との約束は守りやすいけれども、自分との約束は守りにくいものです。」とおっしゃっていましたが、先生はその約束を守っていらっしやいます。又、苦しかった時、自分がぐれかかった時、自分を立ちなおらせてくれたのは、幼い時に死んだ生母の自分への愛であり、生母から受けついで明るい性格だったとおっしゃっていました。私達女性は、スカウトのおきてにもあるように、快活であることが、他人にも良い影響を与えることを考えさせられました。

西村先生の講演に続いて、高力全長の講演がありました。西村先生の話をもとに、「自分の人生に目標を持つこと」それがあれば、そのために努力もするし、それを

通して他人の役に立つことが出来る。自分の年代にふさわしいやくそくを自分に決意し、実行することが若者である。「ベストをつくして、自分のデザイナーになって欲しい。」としめくくって下さいました。夜は楽しい交歓会の後、次の日はグループでそれぞれのスカウティングについて話し合われました。まる一日の短い日程でしたが、同世代の他県のスカウトとの話し合いで、共感することも、考えさせられることもあり、友情を高め、得るものが沢山あったのではないかと思います。

ギャザリングに参加して

4団レンジャー 井上 とみえ

今年の夏休みは、キャンプの他に8月13・14日と静岡県熱海市で行われた、ギャザリングに参加しました。220名のシニア、レンジャースカウトが集まり充実した2日間を送りました。1日目は先ず開会式の後作家西村滋氏の講演、GS日本連盟会長の講話があり、その間に各支部のレクリエーションを披露する、シェアリングタイムというのがあり、今まで知らなかったソングや手話なども教わりました。山梨はビーズで作るブドウのクラフトを紹介しました。その後夕食になり、初めて組員と行動をとりました。他県の人ばかり6人のグループでしたが、すぐに打ち解け話がはずみました。近くの中学校まで歩き体育館でキャンドルサービスを行いました。キャンドルの炎は印象的で今でも忘れられません。楽しい時間がまたたく間に過ぎ、タップスを向かえ一日が終わりました。いよいよ2日目スカウトオンがありました。英語の歌ばかりでまごついてしまいました。そして本題のグループセッション(会議)が始まります。シニア、レンジャーは別々で第1～第7までの分科会(グループ)になり、私は第7分科会でしたが、内容は活動の問題点について、これはレンジャーの人数が少ない、とか勉強とスカウティングの両立などがありました。でも高3のスカウトも月に3回集会を行う団もありました。次にエイドについてでしたがエイドを取ったスカウトは、2、3年生がほとんどでした。ある団では、講習会がありそれに参加すれば獲得できるという事でした。また、スポーツエイドは人数不足で不可能だという所もありました。他に、リーダーになったらどんな事をしたいか、という質問には、歌やダンスの知識を増やす。他の団との交流を深める。などの意見が出ました。また、団のスカウトについて、スカウトの指導など様々な意見が交わされま

した。エイドの話は、これから役立つ事と思います。私このギャザリングで学んだ物を伝えて行きたいと思っています。

南関東指導者研究協議会 に参加して

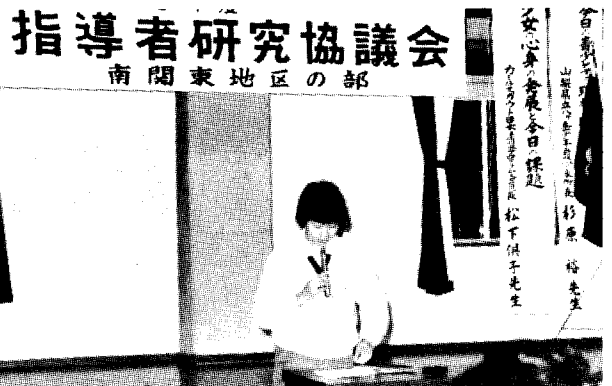
10団 佐藤 秀子

10月9・10・11日の3日間八ヶ岳少年自然の家で、南関東指導者研究協議会が開催されました。

雨の中、東京、千葉、神奈川、山梨の4県、100名の参加者が第1・第2単元を受講しました。

私はここ数年この会に参加するのをなによりも楽しみにしています。この会の開催中は、仕事も家事も年休、主人に私のレクリエーションだからと許しをもらい参加させていただいています。

この会がどうしてそんなに魅力的なのだろうか、他県の面識のないリーダー達と一夜にして何年も前からの知り合いのごとく親交が深められ、スカウト活動の諸々の話を夜遅くまでかわし、クラフトやソングの交換をした



り、有意義な講義を聞いたり、参加した者でなくてはわからない楽しい活動がいっぱいでした。今年は部門別の組編成だったので共通の話題が多く、又この会の常連ばかりだったので話に花が咲き、少しの間も情報交換に専念し、充実した3日間を過ごすことができました。

この会で得たことは支部や団にできる限り還元させていただくつもりであります。又、まだ受講されたことのないリーダー、ぜひ来年は参加してみませんか。勉強になるのしい会であるとお勧め致します。

団キャンプで思ったこと

第14団 三枝 洋子

今年の団キャンプは、第2団と合同で今までの本栖湖から御坂町おんたへ場所を変更して実施した。

甲府から距離的には近いがキャンプ場まで車は入らず、国道から20分ばかり桃畑の中を通り、少し登り坂を歩くことに私は大いにスカウトのために訓練の意義を感じた。テントの設営も8人用はジュニアの低学年には大へんな様だった。レンジャー、シニアの手を借り助け合う事は、大切な事だと思った。敷地内が広いので、リーダー、レンジャー達は連絡など、すべての事に大変だったと思う。しかし早朝、山頂にある金比羅宮へお参りしスカウトオンをした時、別天地にいる様な感じがした。

朝もやにけむる下界、足元から聞えてくるラジオ体操の音楽、甲府の町中に住んでいる者には経験しがたい清しい朝の一ときであった。

キャンプファイヤーの赤い炎を見つめる目、リーダーの指導するゲーム、歌に笑いさざめく顔、声。グループ毎に披露する寸劇、うたを演じるしんけんな姿。スカウト達ののびやかな成長を感じるたのしい一駒であった。

お互いに困った時には助け合う事の出来る思いやりの心を持った少女に成長して行く様、いつまでも見守っていて上げたいと思っている。



レンジャーキャンプに参加して

1団 望月香里

8月5日～10日に行われたレンジャーキャンプは、私にとってある意味では一つの大きな冒険でした。そしてこの冒険は色々な面で私を成長させてくれました。

初めての戸隠、初めての友達。別世界にでも立たされたような不安で胸がいっぱいのまま第1日目がスタートしました。はじめのうちは、ただ家に帰ることしか、頭の中にありませんでした。しかし、グループ7人で力を合わせて、一つ一つの事柄を完成させていくうちに、私の胸の中では、協力、友情の大切さが感じとられ、またそれぞれが不安な気持ちを、どこかへふき飛ばしてくれました。

今年のテーマは、「Let's try!」。まさにその通りのキャンプだったと思います。設営の時、クラフトの時、オリエンテーリングやインタレストグループそして外国のスカウトと話す時etc。すべてに「Let's try!」してきました。「やってできない。」「迷っていないで速実行に。」このように、自分自身、積極的になったような気がします。また、自信と勇気を持つことができました。

色々なことに工夫し挑戦し、グループ7人が、まさにブッシュマン一家になりきり、力を合わせて、緑の大自然の中で、思いっきりEnjoyすることができました。

最終日。全員で友情の輪を作りました。みんなが感動の涙を流しました。この涙こそ、協力、友情、自信、勇気、レンジャーキャンプのすべてを物語っていたと思います。「さようなら。」という言葉は誰も口にしませんでした。「今度はリーダーになってこの場所でまた会おうね。」これが私達の別れの言葉でした。本当に参加してよかったと思っています。

このキャンプでの経験と、あの時流した涙と、そして最後にみんなと交した言葉を、決して忘れることなく、これからもスカウト活動にはげんでいきたいと思っています。

多摩キャンプに参加して

6団 渡辺香織

なにもかもが初めての経験で、みたもの全てがめずらしく、あっという間に過ぎてしまった9日間でした。

キャンプに入るまえは、語学のこととか、キャンプの経験とか、友達のこととか、いろいろな不安がありましたが、実際にキャンプ生活に入ってみると、今まで思っ

ていた不安は、キャンプクラフト、プール、ワイドゲーム、アーチェリーで消えてしまいました。

アメリカのスカウトは、みんなとてもやさしくて、たくさんのお歌をおしえてもらいました。この中で私は今回のキャンプを通してアメリカのスカウトについて感じるがありました。アメリカのスカウト達があまり働くことを好まないかと思うとそうではありません。限られた時間の中で能率よく仕事をこなしていた日本のスカウトを学ぼうとよく勉強していました。そして仕事をおえたあと体の中からさわいだり、たのしんだりしていました。いつもはじめだけはきちんと遊んでいい時、勉強する時、仕事をする時と区別しています。スカウトだから訓練されていたかもしれませんが、“はじめをきちんとつけられること”は、私達スカウトは特に見直す必要があります。

そしてもう一つ、“自分から進んで仕事をする”ことです。私達は何か仕事があっても自分から進んで実行することが少ないです。ふだんの集会の中でも、そして学校生活の中でも、だれかにいわれないと仕事が出来ません。しかしアメリカのスカウトはすごく仕事に対して積極的なのはびっくりしました。「今日はトイレそうじと……があります」といえば、仕事をとりあうくらい、「私は……します」と、仕事をこなしています。

今回のキャンプを通してアメリカのスカウトを学びるとともに、日本人、私を見直すことも出来ました。

思い出のキャンプ

9団 深沢律子

7月26日から、29日まで、健康の森で、団キャンプをしました。韭崎駅を出発して約40分ぐらい行ったところにキャンプ場がありました。

みんなで、わいわいさわぎながら上の方へ行きました。着くとすぐに、作業着にきがえて、テントをはる準備をしました。お兄さんたちがテントのはりかたの説明してくれました。私の組は、他のテントと、少しはなれたところでした。それから、クラフトをしました。

今度は、夕ごはんを作りました。オニオンスープの玉ねぎを柳本さんと私でできました。玉ねぎのしるで、目がしみて涙が出ました。柳本さんと私で「あっ。涙が出る。いたぁい。」とか言いながら、玉ねぎを切りました。やっと夕ごはんができました。私の班が一番早く出来たので、よかったです。私は、玉ねぎが、大ききらいでしたがスープの玉ねぎを、がんばって食べました。

ごはんが終ると甲府の夜けいを見に外へ行きました。とてもきれいでした。



二日目に来ました。昼ごはんのおにぎりを作りました。そのおにぎりを持って鳥獣センターへ行きました。そこには、いろいろな鳥のはく製が、たくさんありました。とても、勉強になりました。こんどは、バスに乗ってキャンプ場へ帰りました。そして、夕ごはんを食べると、キャンプファイヤーをしました。大きな炎がもえあがって、みんなで楽しく歌ったり、おどったりしました。グループごとにいろんな出し物をしました。私たちがキャンプファイヤーをしている時、かみなりがなったので、みんなで「UFOだ。E・Tがくる。」とか言っていました。お兄さんやお姉さんが、くわがたおどりをおしえてくれました。

三日目、おべんとうをもって、オリエンテーリングをしました。と中で道にまよったりしたけれど、楽しかったです。あっという間にキャンプは、終わってしまいました。お兄さんたちとさよならして、バスに乗って韭崎へ帰りました。

いろいろなことがあったけど、とても思い出に残る、楽しいキャンプでした。

キャンプの思い出

2団 森沢里恵

キャンプに、行き、おじさんが、「きつねの巣を、見に行こう。」

と言ったので、わたしも、見に行きました。どこかなあ。ワクワクしちゃうなー。

「ここに、一つあるよ。」

と、おじさんが言いました。

「あそこにもある。」

「わあ、たくさん、あるんだね。」
「敵が、来た時、逃れるようにだよ。」
と言うので、頭を使うなと思います。
「さっ帰ろう。」
「えっどっちだっけ。」
「ほら、もう、きつねにばかされた。」
と言ったので、ほんとうだなと思いました。
「キャンプファイヤーで、火を、もす時に、使う、棒も、
持って行こう」と、言ったので、木を、持ました。
帰って来て、おもしろかったな、行ってよかったと、
思いました。

委員会だより

組織委員会

2月中にアダルト研修会が開催される予定です。
テーマは宗教について
講師 大沢先生

プログラム委員会

シニア・レンジャーの集いが12月26日甲府の南公民館にてキャンプ委員会と協賛で開催されました。50人の参加者によりギャザリング、戸隠キャンプ、タマキャンプ、ジュニアリーダー研修会等の参加報告がそれぞれのスカウトよりなされ、それぞれが勉強になり、大きく成長できた様子が見受けられました。

その後、ハンドクラフト（ロープ犬）を作り、個々のスカウトが作って来た手作り名刺の交換、ソング等を行しい一時をすごしました。

県下のシニア・レンジャーが集ったのは、はじめてのことで2回・3回の開催を希望する声も多数聞かれました。

国際委員会

ユニセフ募金協力ありがとうございました。

シンキングデーは、2月19日（日）甲府市社会教育会館にて実施します。それぞれのスカウトがシンキングデーの意味を深く理解して参加してほしいと思います。



庶務委員会

需品の注文は早目をお願いします。1,2枚の注文は、運送料節約のためまとめて注文しますので、日数がかかりますので御了承下さい。

冬のリーダー用制服が出来ました。すっきりした、すてきなデザインで好評です。ご希望の方は、お申込み下さい。

広報委員会

ガールスカウト写真コンクールの写真を募集しています。多数の方の応募をお待っています。

編集後記

山々もすばらしい色どりに変身し、私達の目をなごませてくれる好季節となりました。

美しい物を美しいと感じられ、素直に表現できるスカウトになってほしいと季節感を折りまぜたスカウト活動が展開されています。

「きれい!」「すばらしい!」「ワー!」と感嘆するのはリーダーばかり、スカウト達はいたってクールという場面に出会ったことがないでしょうか。

すばらしさを感じさせようと、ハイキングに出たのに……。でもスカウト達を感じてくれるまで……。自然の中にどっぷりつけ込んであげたいと思います。きっと成長するにしたがって感動を表現してくれると信じています。

No.2の発行が大変遅れたことをおわび申し上げます。

昭和58年度

No.3

支部便り 11号

S.59.2.19

社団法人 ガール・スカウト日本連盟

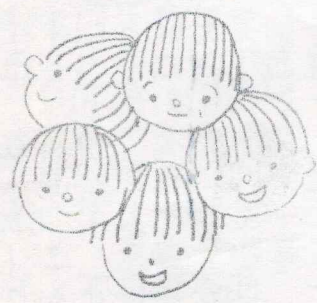
山梨県支部



— B-Pのことばより

ほほえみは、あなたをより幸福にし、また、あなたのほほえみを見て他の人も幸福になる。それが知らぬ人に話しかけなければならぬとき、たとえそれが道を尋ねるだけだとしても、ほほえみを浮かべれば、きっとその人はあなたに親しみをもつだろう。

それと、他の人の話を聞く時、聞かされた悪くても人の迷惑に
 なる私語をしてはいるの、聞かされた悪くても人の迷惑に
 本のカウトの話を聞かされた悪くても人の迷惑に
 あ互いの話を聞かされた悪くても人の迷惑に
 意識してはいるの、聞かされた悪くても人の迷惑に
 の素手で食べる受けたら、聞かされた悪くても人の迷惑に
 し客様のプレゼントは、聞かされた悪くても人の迷惑に
 通して遊びに行くと、聞かされた悪くても人の迷惑に
 へ遊ばせるとは、聞かされた悪くても人の迷惑に
 理解するの、聞かされた悪くても人の迷惑に
 これらの体験が、聞かされた悪くても人の迷惑に
 広げ、ひいては、聞かされた悪くても人の迷惑に
 しても何かの役に、聞かされた悪くても人の迷惑に
 ば、と願っている、聞かされた悪くても人の迷惑に



3 回 東京 15 団との 交流会にて

13 団 シニア 大塚 美奈

私達13団は東京15団(国際団)と交流3回目
 宿の家に、東京15団(国際団)と交流3回目
 達になつた。東京15団(国際団)と交流3回目
 各組が、東京15団(国際団)と交流3回目
 一が、東京15団(国際団)と交流3回目
 こんで、東京15団(国際団)と交流3回目
 なり、東京15団(国際団)と交流3回目
 知り、東京15団(国際団)と交流3回目
 借りました。東京15団(国際団)と交流3回目
 組で、東京15団(国際団)と交流3回目
 組は、東京15団(国際団)と交流3回目
 は、東京15団(国際団)と交流3回目
 と、東京15団(国際団)と交流3回目

ブラジルを見て歩いて

日田リーダー

「9月のオ2オ3はブラジルの話」と予定表

北図はあるが地球儀があればなあと思いつつ行くと、さすが我が
 ガール予定期の唯一行の「ブラジルの話」にちいおと地球儀
 持参。ありはし、助かったと甲府へ行くから始めた。そしく

- 8月19日17時30分 成田発
- 8月19日18時 成田ロスアンゼルス着
- 8月19日23時 南米ペルー・リマ着
- 8月20日7時30分 ブラジル・リオデジャネイロ着
- 8月20日9時25分 ブラジル・サンパウロ着

やっとな30時間の旅が終り飛行場に山梨県人会の人達が多勢出迎へ
 花束までくれた。

さて、よく聞くと変だよ。リーダーの間違いではなりよ。
 成田-ロスの時間、30時間の旅とらつのに、成田-サンパウロは
 次の日の朝着いてるもんね。ブラジルの夜8時、日本へ電話を
 かけると日本は「あはよう、今、朝8時」とらうよ。あかレリね。
 これを時差とらうの、とらう鼻合に話を進め、実物、絵ハガキ、
 写真、地図、地球儀で話す。南米銀行副頭取の親類の子もいて、
 話ははずむ。

人種

- 土人 昔からブラジルの土地にいた人達
 - 白人 ポルトガル人カブランが漂着してポルトガル領
 とし皇帝モリオに10数年いた。ほかにスペイン
 人、イタリヤ人
 - 黒人 ポルトガル人が農業などさせる奴隷としてアフ
 リカから連れて来た人。
 - 黄色人 日本移民、中国、朝鮮人、
- 人種差別のなかり国でみんな混血するそうだ



国語

ポルトガル語(ポルトガス)

宗教

カトリック教

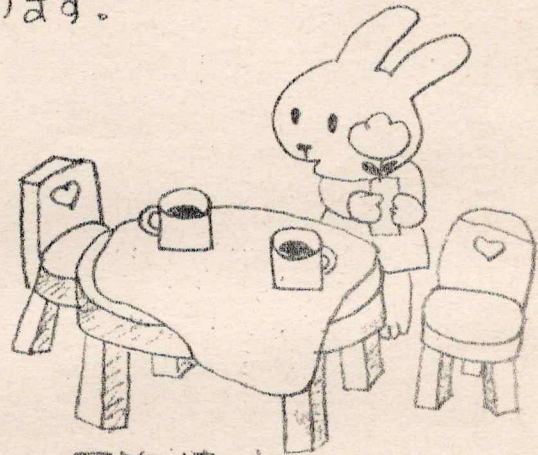
産業

農業 50%以上 代表、コーヒー 世界の半分過
 米、麦、豆、トウモロコシ、綿花、砂糖キビ、ジャケ薯
 果物(バナナ、アボガド、ミカン、パイナップル、ビワ、ブドウ)
 牧畜、牛、馬、豚、(肉も皮も)
 鉱物、鉄、マンガン、石炭、石油、宝石

首都

ブラジリヤ、海岸のリオから、創った都市の高原の地へ
 飛行機の型の町、建物を新しく。

た国社これ経験ま平和願わかり短期間に通国をしたが
 えの国際関係の体面を意短く、心合せ、子孫に
 考り、この成長の思っが、短期間に心合せ、子孫に
 との国際関係の体面を意短く、心合せ、子孫に
 がトウの成長の思っが、短期間に心合せ、子孫に
 できるスガが、この成長の思っが、短期間に心合せ、子孫に
 のウチの成長の思っが、短期間に心合せ、子孫に
 がスガが、この成長の思っが、短期間に心合せ、子孫に
 がスガが、この成長の思っが、短期間に心合せ、子孫に
 ができるスガが、この成長の思っが、短期間に心合せ、子孫に
 のウチの成長の思っが、短期間に心合せ、子孫に
 がスガが、この成長の思っが、短期間に心合せ、子孫に
 がスガが、この成長の思っが、短期間に心合せ、子孫に



アジア

太平洋地域における国際協力への

婦人の貢献に関する意見 山田 幸子

ギャル・スカウト運動の特徴の一つは、国際協力の心を育むことである。これは、プログラムの中心を、世界を楽しく取りまくことである。国際協力の心を育むことは、プログラムの中心を、世界を楽しく取りまくことである。国際協力の心を育むことは、プログラムの中心を、世界を楽しく取りまくことである。

理解し た 難 太 た が て の 行
が 導 け ば 又 そ の 補 助 地
分 野 探 究 は 必 ず 大 洋
自 然 界 と 密 着 して 進 歩
な る べ き こと だ と思 じ
に 求 め る 地 域 団 体 が 活
専 門 的 出 発 点 として 活
は つ て 協 力 して 参 加 し
容 易 に 参 加 する こと が 最
内 容 については 切 断 した
と 役 務 的 に 働 いて 参 加 し
ド の 中 介 する こと が 主 要
エ の 中 介 する こと が 主 要
理 解 が 中 介 する こと が 主 要
際 際 の 運 送 運 送 運 送 運 送
国 際 運 送 運 送 運 送 運 送
家 庭 運 送 運 送 運 送 運 送
学 校 運 送 運 送 運 送 運 送

- (イ) 年齢別居住地 山梨県甲府市市住2丁目14-15
- (ロ) 電話番号 0552 (37) 3624
- (ハ) 郵便番号 400
- (ニ) 職業名 地方公務員
- (ヒ) 団体名 ガールズスクワト日本連盟山梨県支部
- (ホ) 観点 「海外教育プログラムに取り入れその実践

日す。ま役ヅの
時りてント
くれてレ
いれりがい
てきてれて
え待しそ
ら期だ。つ
とはびす。つ
を本とま結
グ白にいと
ン。界息ハ
ィた。世と
テレ。かダ
ウまが。リ
カリす。は
ス知ま。は
、をり。で
ルさ。あ
一弱。は
がの。で
野の。の
視の。の
的の。の
界の。の
世本単立一
國トク持
現ま冊日
そこのこ
いまま
世を体ど
と下
ガ
か
み
た
ち
が
す
も
す
月
て
だ

グをらえていにく時日
白本と期待きてれりてに
ににひだしそれてりて役
ととびす。つはびす。つは
を本とま結ぶ。つはびす。つ
グ白にいと結ぶ。つはびす。つ
ン。界息ハで。つはびす。つ
ィた。世と。つはびす。つ
テレ。かダ。つはびす。つ
ウまが。リ。つはびす。つ
カリす。は。つはびす。つ
ス知ま。は。つはびす。つ
、をり。で。つはびす。つ
ルさ。あ。つはびす。つ
一弱。は。つはびす。つ
がの。で。つはびす。つ
野の。の。つはびす。つ
視の。の。つはびす。つ
的の。の。つはびす。つ
界の。の。つはびす。つ
世本単立一
國トク持
現ま冊日
そこのこ
いまま
世を体ど
と下
ガ
か
み
た
ち
が
す
も
す
月
て
だ

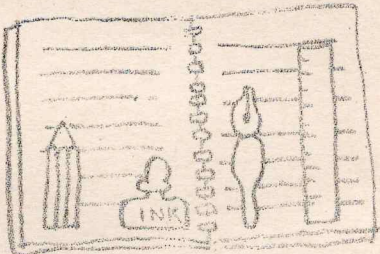
グをらえていにく時日
白本と期待きてれりてに
ににひだしそれてりて役
ととびす。つはびす。つは
を本とま結ぶ。つはびす。つ
グ白にいと結ぶ。つはびす。つ
ン。界息ハで。つはびす。つ
ィた。世と。つはびす。つ
テレ。かダ。つはびす。つ
ウまが。リ。つはびす。つ
カリす。は。つはびす。つ
ス知ま。は。つはびす。つ
、をり。で。つはびす。つ
ルさ。あ。つはびす。つ
一弱。は。つはびす。つ
がの。で。つはびす。つ
野の。の。つはびす。つ
視の。の。つはびす。つ
的の。の。つはびす。つ
界の。の。つはびす。つ
世本単立一
國トク持
現ま冊日
そこのこ
いまま
世を体ど
と下
ガ
か
み
た
ち
が
す
も
す
月
て
だ

グをらえていにく時日
白本と期待きてれりてに
ににひだしそれてりて役
ととびす。つはびす。つは
を本とま結ぶ。つはびす。つ
グ白にいと結ぶ。つはびす。つ
ン。界息ハで。つはびす。つ
ィた。世と。つはびす。つ
テレ。かダ。つはびす。つ
ウまが。リ。つはびす。つ
カリす。は。つはびす。つ
ス知ま。は。つはびす。つ
、をり。で。つはびす。つ
ルさ。あ。つはびす。つ
一弱。は。つはびす。つ
がの。で。つはびす。つ
野の。の。つはびす。つ
視の。の。つはびす。つ
的の。の。つはびす。つ
界の。の。つはびす。つ
世本単立一
國トク持
現ま冊日
そこのこ
いまま
世を体ど
と下
ガ
か
み
た
ち
が
す
も
す
月
て
だ

グをらえていにく時日
白本と期待きてれりてに
ににひだしそれてりて役
ととびす。つはびす。つは
を本とま結ぶ。つはびす。つ
グ白にいと結ぶ。つはびす。つ
ン。界息ハで。つはびす。つ
ィた。世と。つはびす。つ
テレ。かダ。つはびす。つ
ウまが。リ。つはびす。つ
カリす。は。つはびす。つ
ス知ま。は。つはびす。つ
、をり。で。つはびす。つ
ルさ。あ。つはびす。つ
一弱。は。つはびす。つ
がの。で。つはびす。つ
野の。の。つはびす。つ
視の。の。つはびす。つ
的の。の。つはびす。つ
界の。の。つはびす。つ
世本単立一
國トク持
現ま冊日
そこのこ
いまま
世を体ど
と下
ガ
か
み
た
ち
が
す
も
す
月
て
だ

1mを2に伸ばし、食はなすと、
 長かよりうのらにマ達
 身動た「ベ通がよリ子
 kgの昔せだて希望物し一わの
 55リ君足君リててたびなり近
 重が利と一当あ当バ汗んた
 体を正くマ大をを食はこりるこ
 はみです「手物かんわれなあ
 君たのがとるにいなさるかくか
 利たりのかく口たかあえれやん
 正てたなつあとバなか入来きさ
 きたえ重あがだ食あをがてにあ
 好横てあか入れで返あをがてにあ
 大にとまんをは返リ大うさの毎
 も中。リさリ。リくでりはけ君毎
 巨真クあ母バフくののろあか一
 風のッもあん言のこくののあか一
 あ屋キ時。せにと日泣し声をマ
 う部でる。につこ毎が返近とる。毎
 らを尻り口せな。君リ。君てては
 も休右あ開らしん。君リ。君てては
 て巨。きくがりさえマレ。君てては
 れの。リ。だきな。与。返。人。来。命。持。た。り。ば。ら。に。し。り。合。の。さ。し。り。思。い。ま。す。
 り。位。が。で。大。き。な。お。と。し。な。物。を。は。り。の。に。に。な。懸。を。れ。ば。ら。に。し。り。合。の。さ。し。り。思。い。ま。す。
 し。て。45。cm。ガ。リ。人。を。聞。き。な。し。し。バ。の。時。く。所。に。に。な。懸。を。れ。ば。ら。に。し。り。合。の。さ。し。り。思。い。ま。す。
 思。い。ま。す。

委員会だより



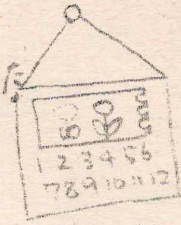
指導者養成委員会

1月29日(日)甲府市社会教育センターにありてリーダー
 研修会が開催されました。
 県下40名のリーダーが、防災研究、岡山、島根、先住の講義、
 を熱心に聞き、防災研究、岡山、島根、先住の講義、
 1番に身を最少数を考へ、防災研究、岡山、島根、先住の講義、
 たら被る油、防災研究、岡山、島根、先住の講義、
 食人が、防災研究、岡山、島根、先住の講義、
 が団に、防災研究、岡山、島根、先住の講義、
 13

プログラム委員会

1月21,22日 愛宕山少年自然の家にてジュニア組長訓練が開催されました。約120名の参加者で行なわれました。

大雪で2日目のアには中止でしたが 貴重な体験と福ました

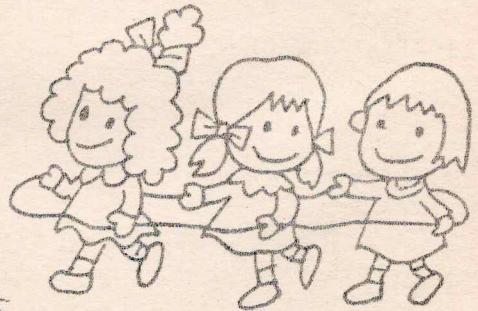


組長訓練に参加して 12回 溝口明美

今日初めて訓練に参加させて頂きました。子供達や訓練の様子を見たりも、バトローのリーダーをまかせられ、お出会った別国のスカウトと行動を共にするの戸惑いもありました。しかし、支部長カール、スカウトにフリの話、組長の役割りについて話したり、クラブつくりとプログラムがどうなっているか、プログラムの終了、就寝するまでの準備、笑顔をかわし、笑いあり、私にさえずり「夜、心配だから早く寝てね」と話しかけ、スカウトの心のふれあいの早さに驚くと同時に感動させられました。それだけでなく、スタッフリーダーの手際の良さ、リーダー同士の協力性のすばらしさに改めて頭が下がる思いでした。

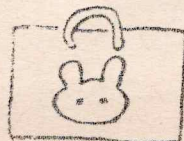
おりにく大雪で22日のプログラムは中止となりましたが、私にとって、21日の3日間あまりの短い間のスカウト、リーダーとすごした時間は、貴重な体験であったと思えます。今後もこの訓練が行われ、より多くの他の国のリーダーが参加されることを望みます。

次回プログラム実施報告と51年度プログラムの提出をお願いします。あわせてバッチ申請の準備もお願いします。提出日、部数は追って連絡いたします。



賅務委員会

2月25日 恒例のバザーを開催いたします。各国、それぞれ工夫されたのしりバザー作品ができればと考えています。協力のほどよろしくお願ひします。



組織委員会

3月4日 成人会員研修会が開催されます。
 YMCの主宰 下次主宰の「ボランティアの心」と題したお話を
 聞き、多くの出席者、父母、リーダーの方の参加を希望して
 おります。
 時間 11時30分～3時30分
 場所 甲府市社教センター 第一集会室



方向オンチ

— 目を閉じて笛の合図による方向へむく —

- ※主眼：注意力、決断力。
- ※対象：青少年むき。班対抗。
- ※隊形：全員を体操隊形のようにして両手開脚で前向きとする。
- ※用具：ホイッスル リーダー用。
- ※準備：周囲の安全に配慮して隊形を整えさせておく。

リーダーの笛の合図で方向を変えます。「ピッ」は左へ90度、「ピッピッ」の2つは右へ90度、「ピッピッピッ」はそのままだが、「ピッピッピッピッ」はまわれ右、「ピッピッピッピッピッ」は1回転となります。
 全員は目を閉じて途中目を開かずにがんばりましょう。

- ※判定：正しい方向をむいている人の多い班が勝ちとなる
- ※留意点
- 1. ゲーム前に笛の合図を確認し、2～3回練習させる。
- 2. 笛の合図は全体にわかりやすく歯切れよく吹く。
- 3. ゲーム中は全員無音で行ない、途中で目を開かせない。

- ※玉手箱
- 1. 年齢層が高いときは、笛のかわりに拍子の回数により行なう。
- 2. 目隠し手ぬぐいを用いればゲーム効果が高くなる。
- 3. 笛、鐘、太鼓、拍子木、ラッパなどの鳴り物5種で、それぞれの指定方向をゲーム前に確認させてむずかしいものにする。
- 4. 正面へ1歩前進（後退）、右横歩き（左横歩き）、そのまま停止、立ったり、座ったり、その場跳びなど変化をもたせる。



編集後記

今号は、国際理解に関する
 記事でまとめました。
 プログラムの中にたく弘
 取り入れられたらと願っています。

昭和58年度
No. 4

支部便り

12号

S 59.4.30

社団法人 ガール・スカウト日本連盟
山 梨 県 支 部



シンキングデー

2月19日 舞鶴公園

何事にも常に備えていなさい。そして、むずかしい仕事や遊びにも、恐れて
はならない。

卵を焼くことも、また、足の手あてをすることもすべて日々の仕事なのですか
ら。

- B P の こと ば よ り -

あすの山梨GS

依田喜栄

シンキングデーにそれぞれのメッセージを托されて五色の風船が美しい青空につぎつぎとあがっていった光景を思い出しています。山梨のガール・スカウトのあすにむかってはばたく象徴ではないかなどと思いながら、本県のガールスカウト活動が活発に行われるようになってから25年になります。今は団数が14団になりましたがなかなか輪が拡がらないのが現状です。ではどうしてと自分の団の活動などを考えてみました。そして地域社会とのふれあい、地域とのかゝわりがかけられているのではないか、もっと地域に愛される、必要とされるガールスカウトになるよう努力しなければならぬと思いました。発展途上国のスカウト達は自然災害の救援活動や環境衛生の指導とか学んだことはすぐ活動に移され、地域社会にはなくてはならない存在になっているそうです。国情も違い恵まれた環境にいる私達ですが地域社会でガールスカウトとして何が出来るか何をしたらよいかと考え身



近な地域での活動を活発にして70年有餘も続けられているこの素晴らしい運動を一人でも多くの人に理解していただくことが大切だと思います。今年のギャザリングのテーマは参加、開発、平和そしてサブテーマは 世界家族の一員として です。先ず自分の地域に目をむけそして世界家族の一員としての自覚ももたなければなりません。この年が発展の年であることを祈って居ります。

スカウト活動を考える

今井温子

ガールスカウト活動の真の目的はたゞ一つ、次代を担う青少年を育てる事である。それは少女一人一人の円満な人格形成である。彼女等は確実に明日を創り担う人、そのものである。この激しい動きの社会に左右されなが

らも彼女等は今、懸命に育つ。正しさのあまりにも少しい現代社会は青少年の人間形成に間接的に又、生々しい身近な問題として様々の悪い影響を青少年に与える。その彼、彼女等をして次代の為に優れた人々になって欲しいという願望は私達成人に於て切実なものである。

創始者の考えられたスカウト活動の方法は、まことに適切に青少年の心理を把握され、楽しみながら学ぶ。又小人数グループによる行動等時代を超越した教育方法である。現在に満足する事なくどのような状況に於ても自立する心を失わず自身の持つ能力をその都度いち早く対応され発揮出来るようこのスカウト活動は行われるのを目標とする。ここに到る努力は少女それ自身が最も励みつとめなければならぬが成人会員は側面からその手だて方法を生かしつゝ協力しなければいけない。各自の狭い領域の域にとかく生きる現代の青少年に自己開発、人との交りの深さ、大切さを感じさせ体得出来るこの活動は貴く個々の人格形成が究極の姿である。その為に団、支部、日本連盟、世界連盟が存在するのである。組織がありそこにスカウト活動があるのではなく、スカウト活動の為に組織が必要と求められることを、お互に再認識しつゝ昭和59年度に入りたいものである。

スカウトと共に

角井節子

山梨第9団として発団致し10年を迎えようとしています。団にかゝわる人々は時の流れと共に変りも致しました。しかし、スカウトだけは、ブラウニーからレンジャーにと団と共に力強く歩み、育って参りました。

スカウト活動は彼女達の日々の生活時間の100分の1にしか充たないものです。しかし「やくそく」と「おきて」で結ばれた人々の集まり、心を一つにして、お互に学び合う心をもって、友情を大切にしてきました。

10年という歲月、少女達は活動を続けるにあたっていろいろと波もあつたでしょう。しかし、御父兄の協力と前向きな姿勢が、彼女達をここまで育て、こられました。スカウト活動は親子で育て、いくものではないかと強く感じるこのごろです。

私もスカウトと共に育ち、育てられて参りました。人の輪も広げることが出来ました。

共に歩いて来た子も、親許より巣立って行きます。この10年の100分の1というほんのさゝい時間でしたが、お互に違った視点から見つめ合うことが出来たの

もこのスカウト活動があったからこそでした。世のお母様方、子供と共に活動を進めませんか。我が子を遠くからみることも、多くの子を通して、見ることも出来るの



です。100分の1のふれ合いが、何かの形で生かされることを願っております。

私とリーダー活動

14団 桜林孝子

娘がブラウニーに、入団した頃、週1度の集会について行って見学をしておりました。今から10年も前の話です。そして何年後に2団が分団して新しい団、14団が誕生する事になり、リーダーをやってほしいと言われて、ブラウニーの活動を見てきたので軽い気持ちで引き受けてしまいました。さあ、それからが大変です。やれ講習会、研修会と何んやらむずかしい事ばかり、段々と後悔する事しきり……

でもリーダーになったのだと心に決め少女達と、どのように接すれば良いか考えるようになり、集会も、時にはプログラムから、はなれて遊び、語り、勉強し、みんなと同じ気持ちになって活動しています。リーダーになって日も浅くまだまだ知らない事ばかり真の活動とはどう言う事か？先輩リーダーを見習って、がんばるつもりです。

ガールスカウトをはじめて

10団 鶴田瑞恵

私がガール・スカウトをはじめて、約2年たちました。楽しいこと、つらいこと、いろいろなことがありました。

みんなでわいわいさわいしたり、時には、しんげんに話しあったりした団キャンプ。

毎朝、水くみ、水くみだった事と、初めてだった事で大変だった支部キャンプ。

特に、団キャンプでの「野外パーティ」はサイコーに良かった。作ることの楽しさ、うれしさを学びました。

他にもこんなことがありました。今まで、ゴミなんかひろったことなど、あまりなかったが、ガールスカウトでみんなで、ゴミひろいやそうじをしてからは、自分でも気をつけたりしてきました。でもまだ時々、ゴミをなげすててしまう時がありますが、これからは、ぜひ、みんなも歩いている時、急いでいる時にでも気をつけて、もらいたいと思います。

私がガールスカウトの中で一番楽しみなのは「料理」です。みんなでいっしょうけんめいまきを集め、火を燃やして、一身体になれました。どんなにまずくても、どんなに形がわるくても、自分で作った物はおいしくな



ってしまいます。こけたごはんもでこぼこのホットケーキもみんなそうです。できあがった時のうれしさ、いっしょうけんめいやったかいたあったなアって気がします。

こんないろいろなことのあった2年間。

これからもみんなに役立つ、ガールスカウトになっていこうと思います。

ジュニアの思い出

11団 丸山明美

私は、ガールスカウトに入ってから2年目にジュニアになりました。友達もたくさんできて毎週毎週の集会はとても楽しかったです。

でもジュニアになり、会員証のうらには、ブラウニーの時の約束とはちがうおきてが書いてありました。

ガールスカウトとしてやらなくてはならないことがいくつも書いてあり、これをおぼえるのは大変なことだと思いました。

でもこれもしっかりおぼえなくてはいけないのだと思い、がんばりました。

ジュニアになってからは、せい服もかわりました。キャンプでも、テントをはって、テントの中でねることもできました。

ブラウニーでは、できなかったこともいくつものできるようになり、今まででも一番心に残っていることは、5年生の時に行った支部キャンプです。みんなで協力してテントをはり、11団以外の友達もたくさんできました。

これからは、シニアになり、また、ジュニアではできなかったことなど、たくさんできることがあると思っています。

これからも、集会には、なるべく出るようにして、ガールスカウトのほうし活動など、いろんなことをがんばりたいと思います。



たんけん旅行

4 団 西 牧 美 帆

私たち、4団のシニアスカウトは毎年、春休みを利用してたんけん旅行というものを行なっています。たんけん旅行とは私たちの手ですべて計画をたて、たんけんし、せいしんをきたえ、友情をさらに深める合宿です。

計画を立て始めるのは2月頃からです。まず最初に決めるのは組です。前団と後団の2つに分けるのですが、これだけはリーダーに決めてもらいます。私たちで決めると1年生や2年生がかたまってしまからです。組を決めていただいているあいだに日時やプログラム(予定)を組みます。組が決まるころは日時なども決まっています。場所は、石和にある、やもとリーダーの別荘を毎年お借りします。それが終わると組ごとに集まり、組長、副組長を決め、組長を中心にこんだてを決めます。

こんだてを決めると材料をすべて書き出し、近くのスーパーに行って値段をみんなメモします。すべて書きだしたら値段をぜんぶ計算してリーダーからそのお金をもらって、たんけん旅行の前日あたりにみんなで買い物に行きます。

たんけん旅行の当日は、甲府駅北口に集合してみんなで電車に乗って石和まで行きます。石和についたら別荘まで歩くけれど目的地まで歩くのに30分くらいかかります。それでもがんばってみんなで歩きます。着いたらすぐ開会式を行ない、そのあと、私服に着がえ、大そうじします。3日間のうち話し合いの時間又Let's Tryの時間は必ずとってあります。話し合いは、たんけん旅行までに、おきてについてレポートをかいてもらってそのことについて話し合います。

Let's Try とは、Girl Scout にかんする問題をレンジャーが作って私たちでやります。

夜は11時にはタップスをしますが、みんななかなかむれなくさわいでしまい、レンジャーの人に注意されタップスをやり直したこともありました。

朝は6時半には起床です。6時40分ころからスカウトウオンをします。スカウトウオンも、私たちが考えました。

だいたい2日目の夜にリーダーがお菓子をおみやげにしてきて下さいます。今年の2日目はパーティーを夜することになってリーダーたちにはパーティーに参加して頂きました。

パーティーに出すお菓子も私たちが自分で作りました。とってもおいしくできて、おなかいっぱいたべました。最後の日になると、いつも決まってるみんなが思うことがあります。それは「3日間なんて、あっという間」ということです。それくらい毎日が楽しくて時のたつのを忘れてしまうのです。「来年も又来たいネ」と口ぐちにみんないいます。

たんけん旅行が終わると、みんな一回り成長した感じですが、今まで、あんまり話したこともない人とも、ひとぼんともになると知らないうちに仲よくなっています。たんけん旅行はキャンプとはにているけれど、自分たちで計画をたて、自分たちでプログラムにそって行動する。という所がちがってキャンプとは違うたのしさであり、経験になるのです。たんけん旅行はこういった意味で行なわれているのです。たんけん旅行をおえて私たちは自分たちの手で行なったよろこびを毎年のように感じています。

知事と語る

青年の集いに参加して

12団 小岩 リーダー

この集いには、初めて参加させて頂き、今まで知らなかった青年の集団が、たくさんある事に驚き、共通の悩み(参加団員不足)を持っている事を知りました。又、当日は雪がいつまでも降り続き、道路の状態が非常に悪かったにもかかわらず、知事さんがこの会の為に来て下さり、知事さんの人柄や、仕事に対する熱意を感じました。私達も、もっと自分を磨き、社会が私達に何を望んでいるのか、今何をしなければならぬのかを、しっかりと見きわめ行動しなければいけないと感じました。各団体の活動内容や意見交換・各団のアピールの場としても、この集いを続けてほしいと思いました。知事さんが2時間近く、多種の質問を受けて下さり、又それに対する返答を頂いた事深く感謝します。

最後に、この集いを準備された実行委員会の方々へ、本当に御苦労様でした。

楽しかったシンキングデー

11団 窪田 博子

今年のシンキングデーは、わたしにとって5回目でした。

去年は同じ団の人と、となりどうしで席にすわったけれど今年はいろいろな団の人とすわりました。

だからいろんな団の人と友達になりました。

山田リーダーたちが外国に行って来た話をしてくださいました。外国のガールスカウトのことが良くわかりました。

あとクラフトがとてものしかったです。

ロープを使って犬を作りました。

話をしたこともない人にいろいろやりかたを聞きました。

そして特によかったと思ったのは、友情のわをくみ終わってから、「まいづる公園」で風せん上げをしたことです。

クラフトの前、紙にすきなことばや、プロヒョールをかいあげました。

風せん上げはこんどから毎年あればいいと思いました。わたしは今度、“シニア”になりますが、ずっとガールスカウトを続けてシンキングデーに出たいです。

委員会だより

国際委員会

シンキングデーを終えて

「みんな、ともだち」のテーマのもとに、去る2月19日、シンキングデーが開催されました。大ホールに坐りきれない程の出席者で大変うれしく思っています。今年例年とちがいで、他の国のスカウトといっしょに坐りましたが、たくさん友達ができましたか？ かわいいクラフトも作ったし、狭い場所でしたが楽しいフォークダンスもできました。歌もたくさん覚えましたね。そしてサンガムのスライドを見て、サンガムに対する興味も一層深まったことでしょう。是非一度行って見て下さい。また今年初めての試みとして、風船上げをしましたけどどうでしたか？ 青空に上がって行った風船を見ながら、それぞれの胸にジーンとするものを感じたでしょう。ではあの380個の風船はいったいどこにいったのでしょうか。1団と9団のスカウトに小田原から、6団のスカウトに大磯から返事があったそうです。他にも返事のあった人はお知らせ下さいね。

では、来年のシンキングデーを楽しみにしてして下さい。

財務委員会

3月25日(日)甲府市商工会議所大ホールにて、恒例の支部バザーを開催しました。



各団工夫をこらした手作り品や、特産物が並び盛況のうちに終了することができました。会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

指導者養成委員会

1月24日、甲府市社会教育センターにて、市民防災研究所岡島醇先生をお迎えて「かんビールのあきかんで白いご飯がたけますか？」などユニークでたのしい防災についての御指導を受けることができました。



さっそくキャンプで利用できることや地震など、いざという時の対応の仕方などとてもためになる内容で参加者は有意義な一日でした。この研修をむだにすることなく各地で機会あるごとに普及していただけたらよいのではないかと参加リーダーの活躍を期待しております。又、3月16・17・18日の3日間県立青年の家にてリーダー養成講習会が開催されました。新リーダー15名が誕生しました。新リーダーのご活躍を期待しております。

プログラム委員会

1月21・22日 愛宕山少年自然の家にてジュニア組長訓練を開催しました。

5年生スカウト約90名が参加し、パトロールシステムの実習など楽しい訓練を行なったのですが残念ながら大雪に見舞われ2日目は朝食をとると同時に解散せざるを得ず、訓練途中で中止になってしまいましたが、1日でも充実した、たのしい訓練だったとスカウト達には好評で、6年生スカウトになった時の夢をふくらませていたようです。

又大雪で愛宕山から市内に帰るにあたりまして少年自然の家の職員の皆様の雪かき作業や駅までの輸送等のご奉仕に心より感謝申し上げます。

組織委員会

甲府市社会教育センターにて3月4日、成人研修会を開催しました。講師にY M C Aの大沢先生においでいただき「ボランティアの心」という題で大変意義深いお話を聞かせていただきました。

今後も成人研修は開催いたしますので、なるべく多数の方のご参加をお待ちします。



編集後記

新緑の好季節となりました。

入団式も終わり、さあ活動開始です。

あたらしいパトロールで、それぞれがこの一年の活動に期待を持って集会に参加していることでしょうか。そんなかわいらしい期待を裏切らないよう充実した集会を持つための努力をリーダーとして常に心がけたいと思っています。でもリーダーとて人間、山・坂あります。そんな時、仲間のリーダーがカバーしてくれるような団づくりができていたらきっとすばらしい集会ができると思います。皆さん、今年は仲間作りに力を入れませんか。すばらしい仲間作りができている団はそれをもっと広げて、まだちょっとと思う団は深めて……みんなでがんばりましょう。すばらしい集会を持つために。

支部便り



S 60. 9. 30

社団法人 ガール・スカウト日本連盟

山 梨 県 支 部



S 60. 8. 3 スカウトフェスティバル

10周年記念キャンプにて

自然を正しい方法で十分に研究できるのは、キャンプ期間中だけである。

なぜなら、ここでは、昼夜すべての時間、自然と向き合っているからである。多分、最初に神の巨木なみわざを悟るであろう。

— B. P のことば —

支部キャンプを終わって

支部長 箭本 翠

支部十周年記念キャンプが終わりました。ブラウニーからレンジャーまでが一緒にキャンプする事は仲々難しい事です。支部十周年記念行事にキャンプをとり上げた時に、出来るかしらと心配でしたが、関係者の努力により実施にこぎつける事が出来ました。けれども準備に多大なエネルギーを使い、疲れてしまうのではと心配した程です。幸い天候にも恵まれ、清里の美しい自然の中で、楽しいキャンプが出来ました。

大勢のスカウト達が参加した為、行き届かなかった事もありますが、このキャンプの為につくされた、努力、熱意、そして友情は何物にも代えられない美しい成果だと思えます。山梨のスカウトが一つの場所に集まって同じテーマの下でのキャンプでした。この事は、私達の胸に消える事がない灯として残るでしょう。

又今回は沢山の皆様の御協力を得ました。有難うございました。私達はこのキャンプをステップとして新しい飛躍の為に努力致します。

雄大な八ヶ岳のふもと少年自然の家



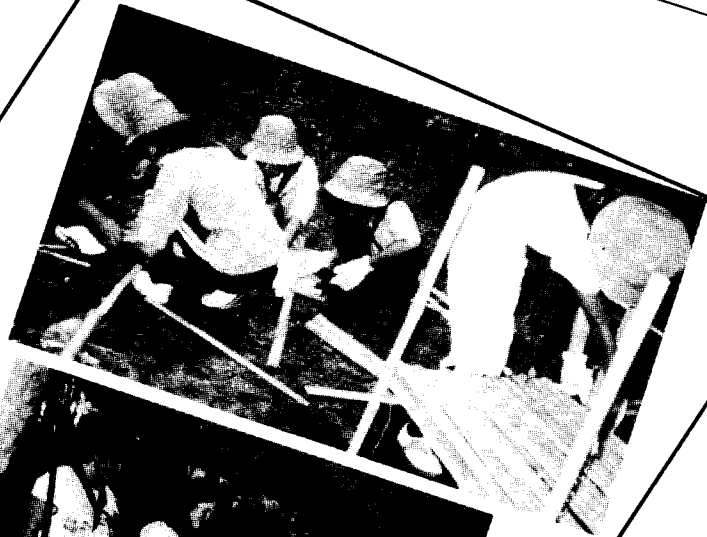
本部での受付……さあ、キャンプIN はりきらなきや



旗手勢揃い開会式



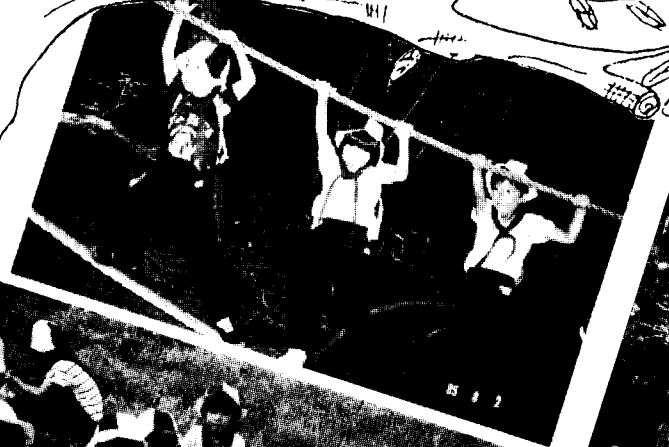
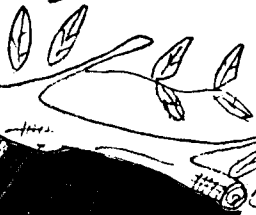
月見草の地区横断幕……あざやかな出来ばえです。ねえキャンプクラフトの出来ばえも期待しましょう。



ばれのオーストラリア
っのおともだち、
って手つきで、
いますね。が
すきで、
ね。が
んか



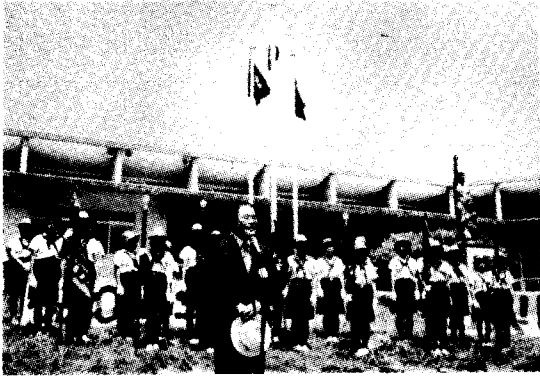
ブラウニーの
冒険ハイク



しっかりつかまって！
足もと大丈夫かな。さあ、
ひとやすみして、おやつ
がおいしい。

式典

望月知事さんに、お祝いのおことばを戴きました。



ご来賓のみなさま



野外パーティー・スカウトフェスティバル



パーティー料理にしたつづみ。スイカの中身はなんだろうな？

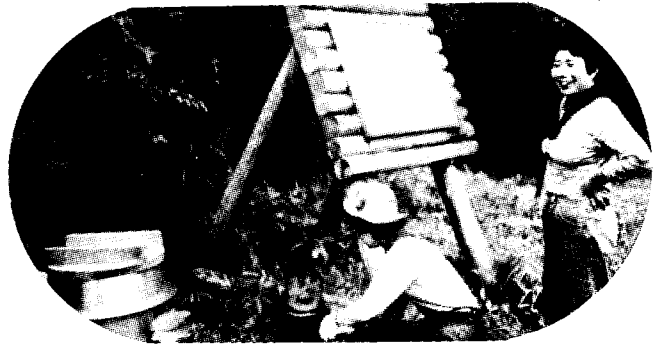


さあ、つって、つって！タイにヒラメ、イカもいるよ。

高原に夜の
とばりがおり
キャンプ
ファイヤーを
囲んでの
楽しい
ダンス



お世話になりました



ご苦労さまでした

支部結成10周年記念キャンプを終えて

キャンプ委員長 星野 豊子

雄大な大自然のふところ、八ヶ岳少年自然の家で支部結成10周年の記念キャンプが、舎営179名、野営295名のスカウトそれにリーダー90名と総数556名の参加で8月1日から4日まで盛り沢山のプログラムで行なわれました。スカウト達は、1泊2日または3泊4日のキャンプ生活をとおして清里の豊かな自然に親しみ、友情の輪を広げ、数々のプログラムに挑戦した喜びでいっぱいだと思います。初期の目的も達成され、事故も無く終了できました事は、支部キャンプ実行委員の皆様をはじめ多くのリーダー及び関係者のご努力と八ヶ岳少年自然の家の職員の皆様のご協力があったればこそと感謝の気持ちでいっぱいです。今キャンプのしおりを手にページを繰ると開会から始まって閉会まではっきりと頭に浮んでまいります。特に望月知事をはじめとする大勢の来賓の方々をお迎えして行なわれた記念式典は感激でした。紺碧の空に八ヶ岳の峰々もくっきりと浮び緑の草原を吹く風もさわやかに、堂々と入場した旗手団また開式を盛り上げてくれた第10団の鼓隊の演奏、頑張ったコーラルスピーキング、炎天下の暑さにも負けず立派にできご来賓の方々からおほめの言葉をいただき、本当にうれしいことでした。野外パーティーでのおいしかった料理の数々。汗を流して挑戦したスカウトフェスティバル。キャンプファイヤーを囲んでの楽しい笑いの輪そして火文字。次々に浮んでまいります。今回のキャンプで得たものが明日のスカウティングの活力となり共に前進できることを期待してやみません。

委員会だより

組織委員会

アダルト研修会のお知らせ

日時 11月5日(火) PM1:00~4:00

場所 社会教育センター

内容 講演会とアダルトハンドブックの学習

会 この機会に多数のお母様方、アダルト会員に参加していただきアダルトハンドブックをテキストにスカウト活動の学習会をしていただこうと思っています。より多くの方に声をかけていただいて、研习会に参加していただけますようお願いいたします。

財務委員会

今年も皆様のご要望で昆布の販売を致します。各団で数量をまとめ注文して下さい。ご協力よろしくおねがいたします。

キャンプ委員

支部10周年記念キャンプ、ごくろうさまでした。それぞれの心の中にたのしい思い出が残ったことと確信いたします。キャンプで得た体験を、スカウト活動に生かしていただければうれしく思います。

プログラム委員会

プログラムアクションごくろうさまでした。各地で、それぞれのアクションを起してくれたようです。

プログラム委員会では、11月30日をメ切日として恒例のおむつ集めを行ないます。

今回は、おむつ集めだけでなく、昨年好評でしたぞうきんに加え、ふきん、タオル、お手玉、よだれかけ等巾広く集めます。

集会活動の中で、又は団委員会の協力で多数集めていただきたいと思います。

集められた品物は、県内の養護学校、養護施設等にプレゼントします。

又、それぞれの団で、毎年届けているところがありましたら、団独自で届けられても結構です。

ご協力よろしくお願い致します。

広報委員会

スカウトキャンペーン実施について

10月20日(日)、山梨市万力広園にて、スカウトキャンペーン(一日スカウト体験)を実施します。

日頃、ガールスカウトに興味を持っている方、スカウトのお友達等をさそって、多数参加していただき、スカウト活動を一日体験し、理解を深めていただくことを目的とします。それぞれの団において、増したい部門に当る年頃の少女をこの会にさそっていただき、入団へのきっかけとしてほしいと思います。

又成人で、リーダー活動等に興味を持っていただくためにもご活用願えれば幸いです。

キャンペーンが成功しますよう、みな様の御協力よろしくお願い致します。

シニア・レンジャースカウトへ

10月13日、小瀬スポーツ公園で、国体フェスティバルが開催されます。その時にガールスカウト、ボーイスカウトで、旗手等の要請が支部に届いております、万障繰り合わせてぜひ協力してほしいと思います。又10月20日一日スカウトキャンペーンでも、年長スカウトのご協力をお願いしたいと思います。なにかと多忙な折ですが、ぜひ参加して下さい。



あとがき

支部だより15号は、支部結成10周年記念キャンプのスナップ写真特集をおとどけいたします。あんなこと、こんなこと、もう一度思い出にひたって頂ければと思います。